

「東京真田町の会」会報

# 日本タボス

令和2年(2020年) **12月21日**



シュナイダー記念碑 (20170822am730)

夏の菅平、朝霧に奏でる青春の響き

ただ一面に立ちこめた まきばの朝の霧の海 . . . 杉村楚人冠

写真提供：一之瀬和夫理事（根子岳四阿山への途中で）

NO.

**33**



別所線千曲川桥梁等災害復旧支援工事の進捗概況。①および②は 2019 年、③から⑧は 2020 年（記事本文はページ 14 に掲載されています。）



① 被災直後の千曲川桥梁全景（10 月）



② 被災直後の G5 桁（10 月）



③ G5 桁解体撤去作業（1 月）



④ 解体撤去した G5 桁の仮置き場



⑤ A2 橋台構築完了（6 月）



⑥ P4 橋脚の補強（4 月）



⑦ 堤防復旧作業中（5 月）



⑧ 千曲川左岸堤防復旧状況（8 月）



「東京真田町の会」のホームページは、同名で検索してご覧いただけます。もし、検索にかからない場合は <http://fukamachi1129.ec-net.jp/sanadamachi/> をご使用願います。

# もくじ

|                                   |                          |       |     |    |
|-----------------------------------|--------------------------|-------|-----|----|
| 表紙                                | 〓夏の昔平、朝霧に奏でる青春の響き〓       | 山田 晃一 | 編集部 | 二  |
| 別所線千曲川橋梁等災害・・・                    | 上田市都市建設部交通政策課            | 山田 晃一 | 編集部 | 三  |
| もくじ                               |                          |       |     | 四  |
| ごあいさつ                             | 会長 (田中出身) 金子 誠           | 編集部   |     | 五  |
| 上田市の更なる発展を目指して                    | 上田市長 土屋 陽一               |       |     | 六  |
| 魅力あるまちづくりを目指して                    | 上田市議会議長 土屋 勝浩            |       |     | 七  |
| 人のつながりを感じる地域を目指して                 | 真田地域自治センター長 山崎 完爾        |       |     | 八  |
| 台風災害見舞ありがとうございました                 | 上田市議会議員 古市 順子            |       |     | 九  |
| 故郷への想いに感謝                         | 上田市議会議員 佐藤 論征            |       |     | 一〇 |
| 逆境を力に変えて                          | 上田市議会議員 齊藤加代美            |       |     | 一一 |
| ご縁がつくる出会い                         | 上田市議会議員 中村 史             |       |     | 一二 |
| 相互扶助                              | 上田市議会議員 眞島 実             |       |     | 一三 |
| 日本ダボス発行に寄せて                       | 信州うへだ農業協同組合代表理事組合長 眞島 一博 |       |     | 一四 |
| 飯島慶三郎さんを悼む                        | 顧問 (横沢出身) 山口 元彦          |       |     | 一五 |
| 飯島慶三郎さんとの思い出                      | 顧問 (戸沢出身) 中島 正江          |       |     | 一六 |
| 飯島慶三郎様を偲んで                        | 顧問 (横尾出身) 鈴木 邦子          |       |     | 一七 |
| まもなく開業100周年、別所線の復旧・復興に向けて         | 上田市都市建設部交通政策課 山田 晃一      |       |     | 一八 |
| わが母校                              | (真田在住) 山本 包幸             |       |     | 一九 |
| 故郷長野への旅                           | (菅平出身) 岩崎みち子             |       |     | 二〇 |
| 事務局の神田様ありがとうございました                | 副会長 (菅平出身) 柴田小夜子         |       |     | 二一 |
| 惨禍にあるふるさとへ義援の手を(一)                | 会長 (田中出身) 金子 誠           |       |     | 二二 |
| 副会長・事務局長(田中出身)深町共榮・会計理事(真田出身)坂口典和 | 副会長 (菅平出身) 柴田小夜子         |       |     | 二三 |
| 有志の意志を上田市へ贈呈                      | 会長 金子 誠・副会長 深町 共榮        |       |     | 二四 |
| 支援金贈呈ニュース二例                       | 事務局・編集部                  |       |     | 二五 |
| 想い出の川遊びと令和・・・                     | (曲尾出身) 清水民子・(東京都) 清水 彰子  |       |     | 二六 |
| 我がふるさとに思いを寄せて                     | 顧問 (戸沢出身) 中島 正江          |       |     | 二七 |
| 台風一九号に見舞われて                       | 副会長 (菅平出身) 柴田小夜子         |       |     | 二八 |
| 会員皆様の近況                           | 編集部                      |       |     | 二九 |
| 議事 令和元年度決算報告書・会務報告書               | 会長 金子 誠                  |       |     | 三〇 |
| 議事 令和二年度事業計画・収支予算                 | 編集部                      |       |     | 三一 |
| 東京真田町の会 会則                        | 編集部                      |       |     | 三二 |
| 会員消息・次回総会の予告・編集後記                 | 編集部                      |       |     | 三三 |
| ご芳志御礼・表1日本ダボス No.32で記事訂正のお願い      | 理事 (大日向出身) 一之瀬和夫         |       |     | 三四 |
| 今が方途を探る好機                         |                          |       |     | 三五 |

「あいさつ」

会長 金子 誠 (傍陽田中)



会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年末に、日本政府は中国の武漢市において未知の感染症があったことを公表しました。それから数か月後世界は「二〇〇年一度」の危機である新型コロナウイルスの感染拡大に見舞われ、世界の死者と感染者の数は増加傾向にあることから我が国においては四月七日都府県で始まった「緊急事態宣言」は、全国に拡大され、「外出自粛」など今迄で一度もなかった生活上の大きな制約体験することになりました。

この時期新録が目まぶしい季節で楽しみにしていたゴールデンウィークは「ステイホーム」週間に変わってしまいました。

「外出自粛」等で、コロナ感染者数がピークを越えたことから、政

府は五月二五日「緊急事態宣言」を解除しましたが、会員の皆様は、新型コロナウイルス感染症拡大防止から「新しい生活様式」の基本である①身体的距離の基本(2m)②マスク着用③手洗い、の実施や④密・密閉(換気の悪い空間)・密集(多数が集まる場所)・密接(間近での会話や、大声を発する場所)を避け外出を自粛し、健康に留意されお過ごしのことと思います。

さて、二〇一九年一〇月強大型台風十九号襲来により神川大氾濫で同沿にある上小森林組合と自治センター駐車場の護岸崩落と同センター前の「四日市橋の護岸崩落(通行禁止)」の現状を毎年十一月に恒例の「ふるさと訪問」を実施し、その際、心に残るふるさと真田地域の惨状と、千曲川が大氾濫し上田電鉄別所線の懐かしい「赤い鉄橋」の崩落する大きな台風被害の現実を知り、当会では早急に全会員の皆様に被害状況をお知らせし「支援金」を募る呼びかけを行い、二箇月たらずの短期間でありましたが、心に残るふるさととの被害状況を心配し有志の皆様九六名から予想以上の反響を頂きました。総額七二万七一九八円の心温まる支援金に対し会長及び理事一同心より厚く御礼を申し上げます。

かねてより早期復旧を期待しておりました別所線橋梁復旧の竣工

式が来る三月二八日施行、との嬉しい情報を得ましたのでお知らせいたします。

#### 支援金贈呈式

令和二年一月二三日(木)金子誠会長・深町共榮副会長は上田市へ出向し、真田地域自治センター長山崎完爾様立会のもと目録を上田市に贈呈することが出来ました。土屋陽一市長から「多額な支援金に感謝し貴重な支援金を大切に活用させていただきます」と感謝の辞を頂きました。

#### 一 今年度の主要な報告とまとめ

##### (一) 第三三回総会・懇親会の延期と中止のお知らせ

「しらかば通信No.25臨時号」でお知らせしておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による先の見通しの立たない未曾有の事態のため五月一七日(日)中止、延期の一〇月二五日開催予定も中止となりました。年に一度の会員皆様との顔合わせと、上田市からお見えになられる来賓の皆様方と交流し懇談する貴重な機会であり楽しみにしておりましたが苦渋の判断で中止することにしました。

大変残念ですが会員の皆様のご理解のほどよろしくお願い致します。

(二) 令和二年度第三三回総会中止に伴う議案表決のお願いと

#### 表決結果報告

「しらかば通信No.25臨時号」で総会の中止をお知らせしたことから、総会席上での議案提出は不可能となりました。そこで表決依頼を、全会員一四〇名の皆様に同「しらかば通信」にて議案を提出し、第一号議案と第四号議案の表決をお願いすることにいたしました。

お手数おかけしましたがご理解とご協力を頂き無事終了することができましたことに感謝申し上げます。

つぎに表決結果を報告致します。返信(回答)締切りの八月二〇日をもつて八四名(枚)にご参加を頂きました。そして八四名(枚)全員の皆様から賛意(一〇〇パーセント)を頂き可決成立しましたのでご報告いたします、ご協力ありがとうございました。

(注)参考・会則「第九条三項総会及び理事会の決議は、出席者の過半数をもって決する」となっております。

#### ※令和三年度総会開催のお知らせ

第三四回総会・懇親会を令和三年五月一六日(日)に開催する予定(仮予約済)です。コロナ禍の終息を願っておりますが状況により中止または延期となる可能性がありますのでご承知ください。

この関係については「しらかば

通信 No. 26、三月発行予定」でお知らせいたします。

(三) 年間の諸行事開催予定全て中止のお知らせ (①～⑤)

① 第三三回総会・懇親会

五月一七日(日)アルカディア市ヶ谷「穂高の間」開催予定を一〇月二五日に延期しましたが、新型コロナウイルス感染症を回避するため中止としました「前出の(一)」。

② イベント関係等

・第三八回上田真田まつり

・第三六回真田祭り二〇二〇年

夏の陣・花火大会

③ 在京ふるさと会交流

・信州うえだ東京の集い

・東京丸子会

④ ふるさと訪問親睦旅行

⑤ 四季めぐり

#### 健康閑談

さて、外出自粛を強いられ、健康保持(長寿)の延伸を図る一助として皆様に実行していただければうれしく思います。

そこで、私がある会議で教えていただいた一・十・百・千・万健康法を紹介します。

一は・一日一回自分をほめること  
(なんでもいいそうです)

十は・一日十回以上笑うこと

(テレビ、ラジオ、家庭での会話などで笑う場面があるときは、大げさに大声で笑いましょ)

百は・一日百回深呼吸すること

千は・一日千字を書くこと  
万は・一日一万歩を歩くこと

(理想は一万歩ですが、自分の体調に合った歩数にして無理しないようにしましょう)。

「健康長寿」認知症予防につながり健康の維持を目標にお元気で過ごしていただき、これからの当会あるいは各地域での諸行事に参加いただきますよう、よろしくお願い致します。

#### 今後の重要課題

(一) 会員の推移状況

発足当初の平成一年の入会者は五三四名で、そのあと八年には会員数最大の六四七名に急増して、しばらくはそのまま高原状態で推移しました。一八年上田市と合併後は五七八名へとわずかに減少し(会費未納者増加しました。二一年には会員数三九三名(過去五年間の会費未納一四四名に退会勧告)となりました。

これまで、皆様には高齢で亡くなられた方また体調不良等により退会を余儀なくされる方が増えます。いま、本年の入会者はなく、現在一四〇名へと激減しております。今後も引続き減少傾向が続きますと当会の運営が一段と厳しくなること間違いありません。

(二) 会員の増強対策

申し上げるまでもなく組織の基盤は人(会員)であります、当会の活

動を更なる活性化していくためには、会員の増強が肝要であります。そしてそのもととなるのはいまだに入会されていない皆様方に対し当会の活動の魅力と有用性等を広く「ホームページ」・「日本ダボス」・「しらかば通信」の広報誌はもとより、口コミなどいろいろな媒体、機会をとらえて引続きPRしていくことが大事なことを思います。会員の皆様ご協力よろしくお願い申し上げます。

(三) 資金面の安定化に

向けた取り組み

当会の運営基盤を構成するものは会員皆様の年会費・上田市の補助金・広告料・会員皆様の寄付金であります。会費未納の方がおりましたら納入のほどご協力よろしくお願い致します。会員数の激減により年会費が減少し収入面で依然として厳しい現況であります。今後とも事務の合理化による諸経費の節約、広告料収入の拡大策を推進するとともに、また新たな施策を模索しながら当会の機能が十分果たせるよう、会長以下理事の皆様と一致協力して努力してまいります。

会員皆様はじめ関係向きの方々の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス禍甚大の折柄、会員皆様ならびにご

家族皆様の益々のご健勝とご多幸を申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

佳お年をお迎えください。

※お悔やみのお知らせ

飯島 慶三郎様(八十一歳)、令和二年四月十二日逝去されました。

役職歴・理事七年、副会長四年の十一一年間の長期にわたり、東京真田町の会の発展のため多大なご尽力を賜りありがとうございました。当会を代表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

【原稿】依頼 2020年8月10日、入稿10月8日

上田市の更なる

発展を目指して

上田市長 土屋陽一



東京真田町の会の皆様には、御健勝で御活躍のこととお喜び申し上げます。



まず、この場をお借りして、先の見えない新型コロナウイルスとの闘いの中、医療の最前線で従事されている皆様、日常生活を支えていただいている全ての皆様に対し、改めて謝意と敬意を表しますとともに、現在治療中の方々の一日も早い御回復を心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者は、国の緊急事態宣言が解除された後も、首都圏などの都市部を中心に増加し、長野県内におきましても同様の傾向を示しております。

8月に入り上田市内でも多くの感染が確認されたため、これまで市の広報車により市内全域を巡回し、「密を避ける身体的な距離の確保」、「マスクの着用を含む咳エチケット」、「まめな手洗い、手指消毒の徹底」などの基本的な感染予防の啓発活動を実施してまいりました。今後につきましても、関係機関の御協力をいただきながら、さらなる啓発や市民の皆様の安心につながるよう、適切な検査の実施に努めてまいりますとともに、県との連携を強化し、上田圏域の状況が一刻も早く収束に向かうよう、全力で対応してまいります。

明るい話題としては、この度「レイラインがつなぐ『太陽と大

地の聖地』と龍と生きるまち信州上田・塩田平」が多くの皆様の御支援をいただく中で、日本遺産に認定されました。今年度から3か年にわたって文化庁の補助を活用し、ビクターセンターの整備やガイド養成、周遊ルートの開発、プロモーション映像の制作などの事業に取り組む予定であります。

また、日本遺産という魅力溢れるコンテンツを充分に活用し事業を推進するため、地域振興が一部に止まらず全市的な広がりを見せるよう、今後、市を含めた関係団体等による「上田市日本遺産推進協議会」を設立し、民官協働のもと、観光振興や地域の活性化、シビックプライドの醸成を目指してまいります。

平成28年度から「住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革」支える財政基盤の改革「市民満足度を向上させる人・組織の改革」の三つの体系により進めてまいりました第三次上田市行財政改革大綱が、今年度、推進期間の最終年度を迎えております。今後は、これまでの取組の総括として、アクションプログラムに掲げる項目の達成状況の検証や次期大綱に引き継ぐ項目等について検討してまいります。

皆様には、ふるさと上田市を温

かく見守っていただき、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会のますますの御発展と金子会長はじめ会員の皆様の御多幸を心から祈念し、会報「日本ダボス」に寄せるあいさつと致します。

【原稿】依頼 2020年9月7日、入稿9月25日

## 魅力あるまちづくりを

### 目指して

上田市議会議長 土屋 勝浩



東京真田町の会の皆様におかれましては、日頃からひとかたならぬご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。また、昨年5月に開催されました第32回東京真田町の会総会におきましては、私どもも上田市議会の議員をお招きいただきご歓待いただきましたことに改めて御礼申し上げます。皆様方の郷

土に対する深い愛情をお持ち続けておられる様子を直接伺いすることができ、改めて心強さを感じるとともに、皆様の付託に応えるべく、その責任の重さに身が引き締まる思いでございます。

さて、昨年は、平成から令和へと年号が変わり、新しい時代の幕が開けましたが、東日本台風が各地に猛威を振るう上田市においても別所線の千曲川鉄橋の崩落や神川に架かる四日市橋の橋台が洗掘されるなど、真田地域でも大きな被害が発生しました。その際には、多くの励ましのお言葉や支援金を頂戴し、皆様からの温かいご支援に改めて感謝申し上げます。

本年に入り、新型コロナウイルス感染症が日本各地で猛威を振るい、活動自粛の影響が日常生活はもとより経済全体に及ぶところとなり、先の見えないコロナ禍のなかで東京真田町の会の皆様のご心労はいかほどかと推察申し上げます。本来であれば、毎年恒例の総会にお伺いし「ふるさと上田」を語り合い交流を深めさせていただくところでございますが、会員の皆様をはじめ出席者各位の健康・安全面を最優先に考え中止されるというところで、大変残念であります。したが、次回の開催に期待を申し上げます。そんな中、ふるさと真田地域で

は、誰もが安全で住みやすいまちづくりを目指して第8期の真田地域協議会がスタートいたしました。「住民自治組織の課題」「災害から地域を守る」「安心安全なまちづくり」など山積する地域課題の解決に向け、地域が一体となつて取り組んでおられます。また、昨年大変な盛り上がりを見せたラグビーワールドカップ2020のイタリア代表の事前合宿地「菅平高原」が高い評価を受け、国内外からの注目の高まりとともに地域ブランドが向上しつつあります。これも地域が一体となり「おもてなし」の心で取り組まれた成果であり、新たな地域力が発揮されたものと考えております。これまでの関係各位のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後、ますます真田地域の個性を生かした、誰もがいきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進にご期待申し上げるところでございます。市議会といたしましても、魅力あふれる上田を目指して、市民の皆様と一緒に取り組みを考えてまいります。

結びに、市民の皆様期待您的上田市議会として更なる研鑽に努めてまいりますので、東京真田町の会の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、東京真田町の会の益々の発展と会員の皆様のご多幸をお祈りいたします。

いたします。  
【原稿】依頼 2020年9月7日、入稿10月20日

## 人のつながりを感じる 地域を目指して

真田地域自治センター長

山崎 完爾



東京真田町の会の皆様には、お健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、三十年以上の長きにわたる会の運営、発展のためご尽力賜りました役員の皆様並びに会員の皆様に、改めまして敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます次第でございます。

さて、本年は世界中で新型コロナウイルス感染症との闘いが今なお続いております。上田市内でも断続的に罹患者の報告が続いていることから、真田地域においても伝統ある様々なイベントや行事が中止或いは規模縮小という状況が続いています。また、観光業・飲食業への影響は大きく、特に昨年ラグビーで大変に盛り上がった菅平高原では、この夏のスポーツ合宿の来客者が昨年比9割減という大変厳しいものとなりました。しかしながら、合宿・学習旅行等誘致のための補助金の新設、7年後の国体を見据えたスポーツ施設の改修の検討など、先手先手の施策を進め、菅平高原の魅力 forcefully 発信し、長期的な支援を進めてまいります。

また、昨年の令和元年東日本台風では真田地域に大きな被害が及び、東京真田町の会の皆様からの温かい支援をいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。現在の真田地域の災害復旧状況ですが、市道崩落箇所が復旧が完了、通行止めとなっていた橋が通行可能になるなど概ね順調に進んでおります。被害があまりにも甚大であった箇所については、一年が経つ現在もお仕事をしておりますが、地域の皆様が一日も早く安心して暮らせるよう、引き続き復旧を進めてまいります。

近年、このような多くの自然災害の脅威を目の当たりにし、改めて地域住民や自治会、団体職員、また行政職員も一丸となり、地域の安心安全を守っていくことの重要

さを感じています。今回のようなコロナ禍においても、人と人との物理的距離が離れようと、心のつながりを感じられる地域づくりを、今後も進めていければと思います。

こうした中、住民が連携してまちづくりを行う住民自治組織である、「真田の郷まちづくり推進会議」が設立してから4年目となる本年、防災部会が設立され、住民による防災活動などが始まっていると聞いています。行政としても活力あるまちづくりが進められるよう連携、支援に努めております。

会員の皆様には現況を御理解いただき、引き続きふるさとのまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会並びに会員の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

【原稿】依頼 2020年9月7日、入稿9月25日

## 台風災害見舞

ありがとうございます

上田市議会議員 古市 順子

今年はコロナ禍の中で、東京の皆様も大変な思いをされていることと思いますが、お元気でお過ごしでしょうか。



昨年10月12、13日の台風19号は、真田町にも大きな被害をもたらしましたが、会員の皆様には故郷を思う温かなお気持ちを寄せいただき、ありがとうございます。1月23日に上田市への寄付の贈呈式があり、私も参加させていただきました。

おかげ様で大きく削られた四日市橋付近の神川は、流れも変えられ、県道の四日市橋は早期に通行可能となりました。四日市団地に通じる市道の四日市橋は、9月中旬ようやく通行可能となりました。しかし横沢角間線は来年度末までかかる見通しです。また群馬県嬬恋村から大日向沢沢に通じる高屋の沢から渋沢川にかけて大きな被害がありました。河川改修は県事業で砂防ダムなど時間がかかるようです。

8月になって「傍陽地区にかかる中村橋の橋脚が台風19号で大きく削られてしまい、補強のためのコンクリートも流されている。台風シーズンの前に至急対策をし

てほしい。」という要望が自治会から寄せられました。中村橋は上田市と長野市を結ぶ主要地方道にかかる橋ですが、傍陽地区にとってほほとんどの自治会の方が、上田市街地に行くための重要な生活道路となつています。県の所管です。ので県議会議員に段取りをしてもらい、8月17日に県建設事務所の現地調査が行われました。応急工事が必要と判断され、さっそく工事が行われました。

地球温暖化で災害はいつ起こっても不思議ではないといわれる昨今です。ハード面をはじめ、私たちひとり一人が防災意識を持って、考えられる対策は早め早めに取っておくことが必要だと改めて思います。

さて、コロナ禍は真田町でも大きな影響をもたらしています。様々な行事が中止になっていますが、修学旅行など子どもたちの行事は生涯にその時だけというものもあり、残念な思いもあることでしょう。保育園や学校では感染リスクを避けながら、行事もいろいろ工夫されているようです。

また菅平観光など様々な事業に大きな影響があり、市でも国の臨時交付金を活用して支援策を講じていますが、いまだ収束の見通しがない中で厳しい状況が続きます。共産党議員団では毎年来年度の予

算要望をしています。今年はコロナ対策も重点としています。

向寒の折、会員の皆様にはご自愛くださいますように。またお会いできる日を楽しみにしております。

「原稿」依頼 2020年7月28日、入稿9月19日」

## 故郷への想いに感謝

上田市議会議員 佐藤 論征



東京真田町の会の皆様におかれましては、益々ご健勝、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

本年は、新型コロナウイルス感染症の影響により総会への参加が叶わず、皆様にお会いする機会がなかったこと大変残念でならないところでございます。

さて、故郷真田地域をはじめ上田市全域が昨年十月の令和元年東日本台風により甚大な被害を受け、その後、東京真田町の会の皆様が

### 《広告欄》

#### (有)上原重機

クレーン作業は懇切丁寧で定評のある上原重機  
へご相談下さい

Rough terrain crane/TADANO

25t/10t/7t/5t

吊上げ：鉄骨・鉄筋・住宅・

庭園(庭石・植木)・その他一般

〒389-0505 長野県東御市和 1086-1

TEL 0268-36-2369 FAX 0268-35-0502

上原重二・恵子 (大日向出身旧姓一之瀬)



#### 東京真田町の会

北本市都道府県人連合会

長野県人会

会長 金子 誠  
(田中出身)

〒364-0035 埼玉県北本市西高尾 4-156

☎048-591-4728



「ふるさと訪問」で上田市にお越しになられた際に、真田地域の被害や上田電鉄別所線の鉄橋の一部崩落などを目の当たりにされ「何かしなければ」という想いから、支援金を募っていただき、本年二月に金子会長様と深町副会長様に役所をご訪問いただき土屋市長に支援金をお渡しいただきました。

私と古市議員が真田地域の議員ということで同席させていただきましたが、故郷に住むものとして、何より皆様のお気持ちがうれしく、感謝の気持ちでいっぱいでした。あらためまして、東京真田町の皆様には深く感謝申し上げます。

お陰様をもちまして、少しずつではありますが、故郷は着実に復旧に向かっており、東京真田町の会の皆様の帰郷を心待ちにしているところではありますが、四月の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言以降、慎重な移動や感染対策が必要となり帰郷にも様々に苦慮されているものご推察いたします。

九月には、上田市においても直近一週間の十万人あたりの新規感染者数が二十人を超え非常に心配された時期もございましたが、新型コロナウイルス感染症がいつの日か収束を迎え、何の心配もなく帰郷できるようになった際には、是非とも皆様のお力添えをいただい

て復旧した故郷の姿を直にご覧いただき、これまで以上にご帰郷いただきたいところでございます。私たち故郷を守るものとして、皆様の故郷への想いにお応えできるよう更に魅力ある故郷とし、皆様にいつまでも誇っていただける故郷であるよう更に精進してまい

る所存でございます。結びに、会員の皆様には、新型コロナウイルスの収束が見えない中くれぐれもご自愛ください。来年、皆様とお会いできることを今年お会いできなかった分、例年以上に心待ちにしております。東京真田町の会の益々のご発展と会員の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。第三十三号「日本ダボス」発行にあたりご挨拶とさせていただきます。

【原稿】依頼 2020年9月7日、入稿10月20日

## 逆境を力に変えて

上田市議会議員

齊藤 加代美(旧姓倉島)

このたび、第33回東京真田町の会の総会、懇親会が中止となり、皆さまとお会いできないことを心から寂しく思っております。

皆様お元気でお過ごしですか。しかしながら、新型コロナウイルス

ルスの感染拡大は収束の兆しがまだに見えず、特に今年の6月緊急事態宣言が出され、東京から一歩も外に出られない状況が続き、その後とも都内からの移動に大変気を使われていることに、心からのお見舞いと感謝をいたします。



まさか：こんな事態になるとは、誰一人として想定も予想しておりませんでした。首都圏からの移動の制限、新しい生活様式を取り入れた生活、マスク生活もすっかり日常化となりましたね。上田でも多くのイベントが中止となり、残念ながら上田城址公園の秋の紅葉まつりも来年まで見送りとなりました。26回目を迎える真田の郷新そば祭りは、生そばテイクアウトで開催されるようです。

そして最もダメージが大きかったのは、菅平の夏合宿。昨年8月はラグビーだけで820チームが高原の芝を駆けていたのに、今夏に菅平を訪れたラグビーチームは、なんと31チーム。そこで、「ラグビー合宿の聖地菅

《広告欄》

## 東京真田町の会

顧問 小林 孝雄  
(曲尾出身)

〒234-0051 神奈川県横浜市港南区日野 4-45-5  
☎ 045-349-2084

## 東京真田町の会

副会長 深 町 共 榮  
(田中出身)

〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 5-7-82  
〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 825-7  
☎ 090-7225-6491

「平」の苦境を乗り越えようと、中心的な役割を担ったのが、菅平プリンスホテルの大久保専務の覚悟。同氏のリーダーシップに賛同した菅平の若手の皆さんが一丸となつて、『夏合宿の聖地菅平支援』【WE ARE スガダイラズ PROJECT】が立ち上がりました。



グラウンドの命名権などで返礼するクラウドファンディングは、6千万円ほど。ラグーマンの心を動かし、心一つにしました。そして、上田市では、「合宿等誘致促進事業助成金事業（合宿や修学旅行を実施する場合、宿泊費等の費用の一部について助成）」「スキー場リフト券補助支援事業（上田市内のスキー場一日券1千円補助）」を実施しています。どうか、皆さま菅平にお越しく下さい。そして温かなエ

ールを。

でも、そんなコロナ禍の中でも、美しい風景はそこにあります。皆様のふるさと真田の郷は、寒暖の差がある今年、色鮮やかな紅葉が烏帽子岳から里へと降りてきています。そして、長梅雨で心配された水稻の収穫量は例年並みと予想され、リンゴ畑には、真っ赤なりんごがたわわと実り、ふじりんごの蜜がたっぷり入りそうな、寒い朝が続いています。

東日本台風から早一年、大きな被害を受けた角間溪谷、横沢角間線の本復旧は令和4年3月末までの完成を目指し、復旧工事が進められています。

この一年、台風災害、コロナ感染症と大きな試練が私たちを襲い、何か自然界から試されているようなそんな気持ちにもなりました。しかし、里山に目を向けると、人の営みにより、いつもと変わらない当たり前の風景がそこにある、自然の偉大さを改めて痛感し「がんばれ！」と、まるでエールを送られているようです。共にこの逆境を乗り越えましょう！

終わりに、会員の皆様には、真田地域のますますの発展のために、そして変わらぬご支援を賜りますようにお願い申し上げます。

【原稿】依頼 2020年9月7日、入稿 10月23日

ご縁がつくる出会い

議会議務局長 中村 史



東京真田町の会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年盛大に行われてきた貴会の総会及び懇親会も中止となつてしまいました。この四月から議会議務局長を拝命し、会員の皆様にお目にかかることを楽しみにしておりますが、機会を得ることができず大変残念に感じております。

私は合併後の平成十九年四月に初めて議会議務局に配属となりました。その後いくつかの所属を経て、平成二十九年四月に議会議務局次長として再び配属となり、現在に至っております。通算しますと議会議務局での在籍は十年目となります。

議会議務局の仕事は、上田市議会の議会運営や議会活動のサポート

《広告欄》



土木工事 解体工事 測量 造園 除雪

株式会社山崎商會

代表取締役社長 山崎 勇治

〒386-0002 長野県上田市住吉 1039-2

TEL 0268-24-6221 FAX 0268-27-7558

e-mail : yamazaki\_shyoukai@yahoo.co.jp



山崎公認会計士事務所

Yamazaki CPA Office

公認会計士 / 税理士 山崎 友揮

(長野県上田市住吉長島 出身)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-12-7 MSビル 6F

tel. 03-6272-6539 fax. 03-6272-6765

e-mail. yamazaki@yy-cpa.com



トはもちろんですが、東京真田町の会をはじめ、東京上田会、東京丸子会の皆様や姉妹都市の議会との交流に関する事務なども重要な職務のひとつです。正副議長や議員に随行することも多く、貴重な経験をする機会にも恵まれてまいりました。

もう十年前になりますが、旧真田町時代から姉妹都市であった和歌山県九度山町への親善訪問も良い経験となりました。私は旧上田市の出身ですので、合併によってご縁が結ばれなければ、訪問することは恐ろしくなかったと思います。真田氏ゆかりの真田庵や慈尊院を訪ねたこと、ゆきむら夢工房で蕎麦打ち修行をされた方のお蕎麦を味わったこと、蓮華定院に宿泊し、まだ暗い早朝の凜とした空気の中での勤めに参加したことなど、彼の地でしか味わえない素晴らしい体験でした。

その後、平成二十八年に大河ドラマ「真田丸」が放映され、職員や友人の間でも九度山町の場面が話題となった際には、実際に九度山町を訪れ、真田氏とのゆかりに触れた経験は私のプチ自慢となりました。

今年はコロナ禍が続き、こうした交流事業も全て中止となっていくことが残念でなりません。一日も早い終息を願うとともに、来年

こそは東京真田町の会の皆様にお目にかかれることを楽しみにしております。

結びに、東京真田町の会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

【原稿】依頼 2020年9月7日、入稿10月23日

## 相互扶助

信州うえだ農業協同組合

代表理事組合長 眞島 実



東京真田町の会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、信州うえだの農産物をご愛顧いただくとともに、地域農業の活性化や地域づくりに対し幅広くご支援・ご協力をいただいておりますことに、心より御礼申し上げます。

昨年、農業や暮らしに大きな被害をもたらした台風19号災害から1年が経過しました。JA信州う

えだでは、倒壊したビニールハウスの撤去・再建、落果リンゴの販売先の確保をはじめ、国の補助事業の案内や共済金の速やかな支払いなど、組合員や地域の皆様の、1日も早い復旧を支援してきました。

異常気象などにより自然災害が年々増えてきていますが、私どもJAは農業を守り次世代へとつなげていくためにも管内農業の振興に引き続き取り組んでまいります。本年は長雨が続き、農産物の生育が心配されましたが、生産者の皆様の努力と、熱い農業愛に支えられ、順調に生育し、収穫期を迎えることができました。

当JAは、管内の農産物への関心を高めてもらうことや消費拡大を呼びかけるために、3月から地元厚生連病院をはじめとするJAグループや県、市町村にご協力いただき、農産物の直接販売に取り組んでいます。コロナ禍の影響で自粛してきたイベントも感染防止対策をしながらはありますが開催できるようになり、各地区で収穫フェアを開催しブドウやリンゴをはじめとする管内産の農産物の販売を行いました。

真田地区では10月24日に「真田地区感謝フェア」を開催しました。真田産の旬の野菜やリンゴなどを販売し、大勢の方にご来場いただきにございました。消費拡大の取

《広告欄》

菅平まんじゅう  
製造、販売

かんせいえん  
菅清園

地酒・地ワイン・地ビールも揃えております

菅平高原 菅清園 TEL: 0268-74-2525 Fax: 0268-74-2655

り組みにご理解・ご協力いただき  
ました皆様に心より感謝申し上げます。

本年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、社会経済は大きなダメージを受けることになりました。このようなときにこそ、協同組合の「相互扶助の精神」を忘れず、皆様と共にこの危機を乗り越えていきたいと思っております。

当JAはこれからも地域に根ざし、農業の振興と組合員をはじめ地域の皆様が幸せを感じることでできる地域をつくることを目指してまいります。

結びに貴会の更なるご発展と会員各位のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、本会報「日本ダボス」に寄せるごあいさつとさせていただきます。

【原稿】依頼 2020年9月7日、入稿10月29日

## 日本ダボス発行に寄せて

信州うえだ農業協同組合

真田地区理事 北島一博

5月にお目にかかれないうちに  
もう季節は秋の深まりを感じさせる頃となつてしまいました。皆様がいかがお過ごしでしょうか。無事、

会報が発刊されますこと誠に  
おめでとうございます。



真田町は稲刈りもほぼ終わり  
リンゴの収穫が始まりました。高原では紅葉が真つ盛りでしてそれが段々と麓へ下りていく。自然は何か変わつていませんが世はコロナ  
コロナに明け暮れてテレワークが  
できない現場で働く皆様のご苦  
労をしっかりと感じた日々でもあり  
ました。この世に大事なものは  
何かをまざまざと見せつけられた  
年となつたような気がします。

さて我が町真田でも人間がコロ  
ナから受ける影響は大きく、私に  
とりましても年間100回以上ある  
様々なイベントや会議がほとんど  
中止となり、県外出張も禁止で市  
場の皆さんとの販売促進会議もで  
きません。お話を伺いする機会  
が無くなりまして困っています。  
その上極端すぎるほどの「7月の  
長雨と8月の高温干ばつ」にも泣  
かされましてレタスも一時的な高  
値はありましたがコロナによる業  
務需要の減少により圃場で3割を

廃棄するというような事態になり  
ました。

農家はそれでも仕事はあります  
が、旅館の方は大変なことになつ  
ておりましてスポーツ合宿がほと  
んど中止になり、いまはグラウン  
ドの手入れと普段なかなかできな  
い補修作業ぐらいです。ほとんど  
あきらめ顔で返済や人件費を含め  
て固定経費を何千万も借り入れし  
たホテルもあると聞いています。  
本当に静かでありまして野山の小  
鳥のさえずりばかりが大きく聞こ  
えてきます。

人の賑わいが無いためか人家の  
あたりまで熊が出没、私も早朝レ  
タスの収穫をしていると畑の縁を  
ドタツドタツと走って行くんです  
ね、あつけにとられて見ていまし  
た・・・。

またコロナの影響ばかりではな  
いのでしょうか、このほど真田町  
で金融店舗の八十二銀行が撤退し  
て農協だけになってしまいました。  
その農協も体力を保てず近いうち  
には店舗の再編が行われることで  
しょう。

はたして国や大企業は国民に寄  
り添っているでしょうか。それを  
忘れてしまっているからこんなに  
不景気が続いているのではないで  
しょうか。

そんな中でも私たちは、市場出  
荷ばかりでなく産直や直売所を通

して力を蓄え、少子高齢化の中「孫  
ひ孫」が傍にいて「じじ、ばば」「ひ  
い爺ちゃん、ひい婆ちゃん」と呼ん  
でもらえる生活が幸せなんだと、  
いつかは「じじ、ばば」になる「子  
供たち」に理解してもらええる社会  
を作ろうとしています。

人生は持ちつ持たれつ様々な繋  
がりを持ちながらおたがいに相手  
の生活を想像し気持ちに寄り添わ  
せていくことが必要だと考えます。  
とりとめもない話ばかりになつ  
てしまいましたがこのような機会  
を持たせていただきましたことに  
感謝申し上げますとともに「東京  
真田町の会」が今後ますますのご  
発展と会員皆様のご健勝とご多幸  
をお祈りいたします。

【原稿】依頼 2020年7月28日、入稿10月30日

## 飯島慶三郎さんを悼む

顧問 山口元彦 (横沢)

当会副会長を務められた飯島慶  
三郎さんが、令和二年四月十二日  
に永眠されました。八十一歳でし  
た。ご家族にとつて大変な悲しみ  
でありますとともに、当会として  
もかけがえのないお方を失い、誠  
に残念でなりません。

飯島さんは、当会創立後間もな  
く入会され、平成六年に理事にご



就任、平成十四年から同二十八年まで副会長として活躍されました。在任中は、渉外・広報を担当され、ゴルフの達人であられたこともあって、真田町の方々との交流ゴルフ、会員親睦ゴルフ、上田会との合同ゴルフコンペ等を通じて、真田町当局や他会との交流にご尽力くださいました。また、とても気さくで話しやすいと同時に、何か課題が生じた場合には一緒になって考えリードしてくださいましたので、役員みんなが慕いかつ頼りにしておりました。



私個人としても、高校の後輩としてかわいがっていただき、ゴルフの手ほどきをしていただいたり、理事会の後などに帰る方向が同じなかで、時折「ちょっと寄って行くか。」と誘われ、吉祥寺のスナックなどで上手な歌を聞かせていただいたり励まされたりし、公私ともにたいそうお世話になりました。お孫さんが日本有数のスウィミングスクールに入所を認められ、その送迎等の世話をしなければな

らなくなり、会の活動時間が取れなくなつたとのことで役員を辞されましたが、その後も、総会・ふるさと訪問旅行・上田会との合同ゴルフコンペなどには積極的に参加され、盛り上げてくださいました。

昨年秋に二度目の胃がんの手術をお受けになるとお聞きし、お見舞いに行きたいから病院を教えてくださいとお願ひしたところ、病気で衰えた姿を見られるのは嫌だと断られ、回復したら連絡するかとのことのお言葉を胸に、その日を心待ちにしておりました。しかしなかなかご連絡をいただけませんでしたので、そろそろこちらからご機嫌伺いをしようかと思つていたところに、新型コロナウイルス騒ぎが発生し、様子をうかがつていくうちに訃報をいただいてしまい愕然としました。このようなことになるのであれば、しつこくご連絡を差し上げるべきだったと悔やまれます。

飯島さん、どうぞ安らかにお休みください。とはいえ、わがままを言つて申し訳ございませんが、どうか、天上から東京真田町の会を見守つていただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

【原稿】依頼 2020年7月16日、入稿9月13日

☆

☆

## 飯島慶三郎さん

### との思い出

顧問 中島 正江 (戸沢・関谷)

慶ちゃん(敢えてけいちゃんと呼びせて) 今年も元氣でお会いできる・・・と信じていたのに突然の知らせで本当に驚いています。前の総会で見かけたとき、顔色が悪いかなど思つてはいたんですが、とてもお元氣だったので安心していましたのに、亡くなつたこのことを聞き、涙がとまりません。これを書いてる間も涙を拭きふきで筆が進みません。

総会など、打合せの折など、いつも次の楽しいことを計画して下さり私も会長をさせていただいた時など、いつもいろいろアドバイスをもらつて元氣になつて頑張つてやろうという気持ちになりました。二次会などでもとても気配りよく、また歌を唄えばすばらしい歌声(甘く切なく) 今でも思ひだします。

ゴルフにおいてもプロ級の腕前を教えてもらいました。

上田会のゴルフにも参加したいと思ひまして練習をしていましたところ、真田町の会の旅行では、鹿教湯温泉で不注意がもとで股関節を骨折してしまつて、救急車で上田医療センターまで運ばれ手術

をしました。二週間の入院後、東京へ帰つてそれからリハビリをして一日でも早く慶ちゃん達とゴルフがしたいと思つてウズウズしていたところ「もうそろそろ打ちつぱなしでもいいからゴルフ行つてみたら・・・」と先生に言われていた矢先のこと、もう慶ちゃんとゴルフできないだね!! 残念でしたかたないよ。さびしいよ・・・

慶ちゃんのゴルフをする姿勢のスマートさを今も忘れません。いづれ私もそちらの世界に行つたときには歌い、そして楽しくゴルフでも一緒にして下さい。

ご家族の皆様、お力落しと思ひますが、元氣でお過ごしください。

ご冥福をお祈りしています。

【原稿】依頼 2020年9月10日、入稿10月13日

## 飯島慶三郎様を偲んで

鈴木 邦子 (横尾)

年が変わつてからまもなくでしたが、全国的にコロナウイルスが広がり感染者が日増しに増えてきて不安な気持ちを拭いきれずにいた。そんな折、全く思つてもいなかった飯島慶三郎様が、四月十二日



に八十一歳で他界されご葬儀はご本人の遺志に従われ近親者のみで執り行われ、尚四十九日の法要もお済に成られたのでしよう。

ご家族の皆様にとられましては、一息されると共に、お疲れがでたり、一段と悲しみも増す頃の五月末でしたが、奥方の三佐子様からお知らせを頂戴いたしました。

同年代でもある私のショックは大きく悲しい出来事でした。

東京真田町の会の理事の仲間入りをさせて頂いた私にとって大先輩でもあった、飯島さんは理事会では多くはお話になりませんでした。が、これぞと言う時には、ビシッと的確な判断をされ会をまとめて下さることは勿論ですが、人を叱責するような様を目にした事も有りません。そのような飯島さんは、心から尊敬できる人の中のお一人でもありました。何かにつけて優しく教えて頂き大変お世話になった事を思い出しています。今思えば五年程前からかと記憶していますが、一言も弱音を吐かず何時

もにこやかにされており、東京真田町の会には欠く事が出来ない方と思っていました。副会長としても意欲的にご尽力されておりました。役員改選の度に会長始め理事全員が次期会長にと懇願しましたが、頑なにお断わりになられ、会長の願も叶う事もなく平成二十八年に副会長及び理事も惜しまれながらも退任されました。後に私も年齢的なことを考え理事を退任させて頂いていました。

そんな私に何故か何人かで集まるからとお声をかけて頂きました。そこに飯島さんもいらつしやいまして、「慶ちゃんしばらくね」、本来なら私なんぞどうてい気安く呼べる方ではないのですが全く嫌な顔もせず、気にもせずお付き合いさせていただきました。

飯島さんはお体を気遣ってか、主に水割りをご薄くされ召し上がっておられたように思っていました。大好きな仲間で第一私を異性としてではなく本当に気楽に楽しくお付き合いさせていただいた事が嬉しく思いました。

ただ残念なことに今年の二月頃だったと思いますが、仲間のお一人から「飯島さんがまた皆で飲みたいね」と言っているから飯島さんの都合を伺ってから連絡いたしたくことになっており楽しみにしていました。そんな矢先コロナが蔓

延し始め自粛生活を余儀なくすることになり心待ちにしていました。が、とうとうお会いすることも出来ずにこんな寂しいお別れとなつてしまいました。

思い出と言いますと、いつもデザインーでお酒の席でも紳士的でしたし歌もうまくカラオケが大好きでとってもソフトな甘い歌声で歌われ、きかせて頂くのが好きでした。

ゴルフの腕前は相当うまかったようですがご自分から自慢気にお話にはなりませんでしたがまわりの方達から伺い聞きました。

今年の東京真田町の会の総会も出来なくなり、飯島さんとは昨年の総会でお会いしたのが最後になつてしまいました。が、談笑されておられた姿が懐かしく想いだしております。

きつとあちらの世界でも素敵な人生を送っていらつしやる事と想像し、懐かしみ心からご冥福をお祈り申し上げます。合掌

【原稿】依頼 2020 年 7 月 16 日、入稿 7 月 20 日

まもなく開業 100 周年、別所線の復旧・復興に向けて

上田市都市建設部交通政策課

山田 晃一



## 一 いちい

東京真田町の会の皆様におかれましては、お元氣でお過ごしのことと拝察いたします。

私は、日頃、会員の皆様とお会いする機会はありませんが、8 年間の秘書課在職中には、市長・副市長のアルカディア市ヶ谷での総会訪問や旧真田町・九度山町との交流事業の調整、また、市の式典・祭りでの山口前会長の御案内、そして毎年「日本ダボス」を拝読させていただくなど、陰ながら親近感を持たせていただいております。そのような折、金子会長から別所線の災害復旧に関する寄稿文の御依頼を頂戴しましたので、拙文ながら、経過報告をさせていただきます。

## 二 令和元年東日本台風 19 号により 10 月 13 日早朝別所線鉄橋が落橋

工事等進捗概況を 2 頁の写真で紹介しています

はじめに、昨年 10 月の台風災害



の様子を振り返ってみたいと思います。

私は、台風19号の勢力が強まっていた12日の午後2時過ぎに市役所に参集し、まずは、交通事業者と連絡を取り合いながら、鉄道・バス運休情報のメール配信を行っておりました。

その後、しばらくは静観状態が続いたものの、上田・佐久地域での雨量が多かったことから、夜9時過ぎには、国分地区で千曲川堤防から溢水が発生したとの緊急情報が発せられます。

さすがに私も非常事態と感じ、家族には、自宅(中之条)を離れて、すぐに避難するように連絡しつつ、堤防道路周辺の夜間パトロールにも出勤しながら、そのまま職場で朝を迎えました。

早朝、千曲川堤防の崩落を告げる緊急情報。そして、徹夜明けの眠気も吹き飛ぶ凄絶なテレビ映像を目の当たりにするのです。朝8時、別所線千曲川橋梁が落橋。

全国版のニュース映像でも放送されたことを鮮明に覚えておられる会員の皆様も多いのではないのでしょうか。

城下地域に避難指示が発令される中、8時33分、地元建設会社による24時間対応での千曲川堤防の応急復旧工事が始まり、2週間後の10月28日に完成。ようやく地

域の皆さんも一安心することができました。

### 三 別所線千曲川橋梁等災害復旧事業を上田市が事業主体として実施

さて、本当に大変だったのは、台風が過ぎ去ってからの対応でした。地域住民や高校生の重要な移動手段の確保に向け東奔西走することとなります。

しなの鉄道線や別所線の代替輸送の調整、路線バスの迂回運行などの調整を進めるとともに、何といても最大の課題は、別所線の災害復旧事業の財源的な問題でありました。

とりわけ被災直後から、国・県・市の議員各位、関係行政機関の皆さんが、長野県内をはじめ積極的に被災地域に足を運んでいただき、凄惨な実情を目の当たりにされ、国としての財政支援制度のあり方を、前例にとらわれない形で議論いただくこととなります。

11月4日には、赤羽一嘉・国土交通大臣が、別所線や長野市の堤防決壊箇所などの視察をされるとともに、長野県知事や上田市長との意見交換も実施いただきました。

こうした経過も踏まえ、国土交通省におかれては、初めて災害時の代行バス補助制度を創設いただくとともに、災害復旧工事の補助金の予算確保に努めていただきま

した。

そして、関係行政機関の御指導・御助言を仰ぎながら、導き出した答えは、「上田市が鉄道施設を公有化して、災害復旧事業を実施する」という事業手法でありました。

「特定大規模災害等鉄道施設災害復旧事業費補助金」。

これは、平成28年の熊本地震で被災した南阿蘇鉄道に続く、全国2例目の補助事業で、国が2分の1を補助し、また、残り2分の1を上田市が負担するもので、経営事情の厳しい上田電鉄(鉄道事業者)の負担が0という特別な補助制度であります。

加えて、市負担分には、後年度、国の地方交付税措置がされることにより、実質的には国が97.5%を負担することとなります。

ただし、この高額な財政支援と引き換えに、上田市には、災害復旧後も鉄道事業の継続に対する一定の責任を持たせるため、「鉄道施設の公有化」が求められたのです。

この事業手法について、土屋市長の最終決断に至るまでには、被災以降3か月間にわたり、市役所内部での検討はもとより、上田市議会、上田電鉄、国土交通省鉄道局施設課や北陸信越運輸局鉄道部及び交通政策部、北陸地方整備局河川部及び千曲川河川事務所、長野県交通政策課など、各方面との協

議・調整を慎重に重ねてまいりました。

そして、1月24日の市議会臨時会において、8億円を超える予算案など関係議案が全会一致で議決され、これ以降、上田市が事業主体として災害復旧に取り組んでいきます。

### 四 市民、ふるさと上田を愛する人々、鉄道ファンからの応援

他方、この事業手法を決断するに至った背景には、多くの市民、ふるさと上田を愛する人々、鉄道ファンからの応援があつたからこそであります。

被災直後から市民、地元団体、学生などが募金や応援メッセージ募集の活動をいたく中で、長野大学の活動においては、シンガーソングライターの松任谷由実さんから応援メッセージをいただくこともできました。

また、上田市自治会連合会が中心となり、全ての自治会で署名活動を展開していただき、5万人を超える署名簿を市長・市議会にお届けいただきました。

そして、寄附金の取組としては、12月13日に創設したふるさと寄附金・別所線支援コースには、全国各地から多額の御寄附をいただき、また、東京真田町の会の皆様から、1月23日に災害義援金を市長

にお届けいただいたところでもあります。

こうした皆様から、別所線の早期復旧を願ひ応援をいただいていることに対して、この場をお借りして感謝を申し上げます。

## 五 先人たちが100年間守り続けてきた地域の宝

さて、令和元年9月に開館した上田市公文書館には、大正10年の川西線・青木線の開業や、大正13年の千曲川鉄橋建設に対する補助について、市議会の議決を得た書類が保存されております。

古くは、北東線（真田傍陽線）、青木線、丸子線・西丸子線がこの地域の生活・経済をけん引していたことと思います。（私は、真田傍陽線が廃線された昭和47年の翌年生まれなので、当時の状況を知る由もありませんが、駅前食堂のぼつぽや定食は大好物です。）

100年前に別所線への支援が行われ、そして、今回の災害復旧においても、様々な皆さんの応援のおかげで別所線存続が決断されたことは、先人たちから連綿と受け継がれる上田市民の精神そのものなのだろうと感嘆するところでもあります。

また、上田交通（上田電鉄）の親会社にあたる東急グループの創業者である五島慶太翁が青木村出身ということもあり、東急本社から



上田市・上田電鉄・東急グループによる事業推進

絶大なるバックアップをいただき、現在は、上田市・上田電鉄・東急の三人四脚で復旧・復興に向けて全力で取り組んでおります。

来春3月28日、千曲川にかかる赤い鉄橋に再び電車が走る映像を思い描きながら、寄稿をさせていただきます。

結びに、今年6月、信濃国分寺や別所線の鉄道施設を含む塩田平の文化財群が文化庁から日本遺産に認定されたことを契機に、真の復興に向けて取組を進めてまいりますので、東京真田町の会の会員の皆様方におかれましても、引き続き、別所線への温かい御支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

【写真人物】（敬称略）左より上田市

役所①総務部長中村栄孝、②副市長井上晴樹、③市長土屋陽一、④都市建設部長藤澤純一、⑤財政部長山口武敏。  
「原稿」依頼 2020年9月8日、入稿10月20日」

## わが母校

### 山本 包幸（真田在住）

私は昭和20年の生まれ、真田は幸村街道に面して山家神社にほど近いところに住む山本包幸（かねたか）と申します。

昭和27年に長村小学校に入学し、西組と東組のそれぞれ24名でした。

あれから60余年が経った今、ここ数年間にあった母校とのかかわりを紹介します。

―文章を読みながら左表の数値が何を示しているかお考え下さい―

ある時、同級生より「同級会を開かないか」と連絡が入りました。平成19年5月18日（快晴）、62年ぶりに登校しました。

|   |         |   |      |
|---|---------|---|------|
| ⑨ | 697     | ① | 1251 |
| ⑩ | 420     | ② | 1164 |
| ⑪ | 130     | ③ | 2207 |
| ⑫ | 210     | ④ | 2354 |
| ⑬ | 63      | ⑤ | 2065 |
| ⑭ | 241     | ⑥ | 740  |
| ⑮ | 53 & 21 | ⑦ | 661  |
|   |         | ⑧ | 688  |

これらの数字は何処の何を表しているでしょうか。答は本誌〇頁にあります。

校長先生に案内され、私たち15名は3年生の授業を参観させてもらいました、大歓喜でした。

そのあと、校長先生は私たちを校長室へ案内し、歴代校長の表札を指さされました、その先には当時の金沢勝雄校長先生とその私たちの時代がありました。又、担任は今井美代子先生でした。

たまたま玄関校庭が草ぼうぼうでした。―私達が入学した当時は授業の前に草むしりと石ひろいが授業の一環でした。―、などと話したのです。翌日お礼の言葉に学校へ寄ったところ、土屋校長先生と下崎教頭先生が麦わら帽子姿で汗を流し草むしりをされていたました。よけいな話をしてしまい申し訳ない・・・とあやまり、これからは私山本が責任をもって草刈りをします、と約束をして、次の日からビ―バーを持ち、早朝から草刈りです。

次の年に3年生の工作の授業をしました。姉妹校の岡担（おかたん）町からホームステイに来ていた内浦小学校（注1）の生徒、および長小の6年生らと一緒に真田丸の兜づくりの授業をしました。また千古の滝の窯で5年生と陶芸の授業もしました。

今でも職員室には真田丸の兜が飾ってあります。その後、私は環境ボランティアとして長小学校のお





川久保鉄橋を渡る温電、レールのあった街(BS 朝日)



内浦小と長小生徒による兜づくり

世話になっています。

このように、年度節目の入学式

や卒業式に、および音楽会や運動会など諸行事に、また給食会などに出席させてもらい、子供たちからパワーをもらっています。

(注1)福岡県遠賀郡岡垣町の教育委員会HPによれば、長小や本原小などと隔年で相互の交流を、上田市表敬訪問や真田一族の名所旧跡見学もおこなっています。

【謝辞編集部より】山本包幸様には2014年(平26年)の本会旅行において長谷寺訪問や池の平ホテルに同行していただきました。執筆の依頼にも快諾をいただきましたこと御礼申し上げます。

写真およびCDは山本氏のご提供による。【原稿】依頼 2020年7月28日、入稿9月19日

## 故郷長野への旅

岩崎みち子(菅平・正木)

十一月五日から七日迄、長野に夫と共に旅行しました。雲一つ無い晴天に恵まれ紅葉がとてもきれいでした。特にドウダンツツジの赤が映えていました。初日は長野駅近くのホテルで昼食をとり、善光寺に隣接している東山魁夷の「東山魁夷日本画への出発」を鑑賞しました。有名な「緑響く」「夕星」等芸術の秋を堪能しました。その後「冬季オリンピックが開催された年に開業したロイヤルホテル

長野に宿泊し松代温泉露天風呂を満喫しました。

日頃は、東京の狭い我が家で、内孫と三人と同居し外孫二人も年中来ている賑やかな日々ですが、久しぶりにゆっくりとした一日を過ごすことが出来ました。

二日目は松代に来ていた事を知った菅平の兄夫婦が急遽車で案内してくれることになり、「栗と北斎と花のまち」小布施に行きました。北斎館では、富嶽三十六景の版画や地元の祭り屋台二基の天井絵等を鑑賞しました(写真を31ページに掲載)。北斎九十年の多種多様な作品群とその才能に圧倒されました。その後栗の小径を通り高井鴻山記念館に行きました。今日の旅で最も印象に残ったのは高井鴻山の存在を知った事でした。画家北斎の最晩年を支えた鴻山なくして、今の北斎の世界的評価はなかったかもしれません。又持てる財力を飢饉に苦しむ民の為に、明治維新では教育立県を強調し晩年は教育活動に専念されました。そして現在の教育県長野の礎を築かれました。彼のエピソードとして、水不足のときに使用人から風呂に入るよう勧められた鴻山が民が飲む水も困っている時に入るべきではないと断ったそうです。実際に鴻山の井戸水を民に分け与えたそうです。学者であり芸術家であり

教育者であり篤志家であった鴻山。彼が長野に生まれ行った業績に対して、同じ県民として誇りに思いました。

三日目は、松代城跡・松代文武学校を廻り散策しました。又真田邸・真田宝物館では真田家の歴史を学びました。

今回の三日間の旅は楽しく有意義でした。その反面万全の配慮をしたとしても、コロナ禍で旅行して良いものか複雑な思いもありました。完全に元の状況に戻らないかもしれませんが、純粹に旅行を楽しむ日常が一日も早くくるように祈って参ります。

【原稿】入稿11月18日

## 事務局の神田様

ありがとうございます

副会長 柴田小夜子

東京真田町の会も33年という長い間、多くの活動を続けてきました。

その間、山口様、鈴木様、神田様と事務局のお仕事をしていただきましたこと、本当にご苦労さまでした。

神田様には直近の平成30年4月から、令和2年3月までの3年間にわたって局に関わっていただきました。

本会の事務局は次のようにとて  
も多くの仕事があります。

- ・ 会員への連絡作業
- ・ 市からの様々な情報の処理
- ・ 理事会運営の進行とまとめ
- ・ 総会の準備とまとめ

広報誌の発行準備及び発送等  
このような作業を一人で行うのは大変なことだったと思います。

神田様には高齢化による会員数の減少で会の運営が厳しくなる中、問題点を整理し事務局を務めていただきましたこと、誠にありがとうございました。

最近のコロナ禍の中、関東地区では感染者を多く出しており、収束の様子が全く見えないばかりか防ぎようが無い状態です。このため、本会は理事会を開くこともできず、来春に予定しております総会もどの様にしてよいのか迷っております。また、様々な行事やイベントなどの企画についても、理事会は四苦八苦しております。

このような状況下における会の運営について、皆様のお知恵とご意見をお寄せいただきたいと存じます。〔原稿〕依頼 2020 年 10 月 17 日、入稿 10 月 21 日

## 惨禍にあるふるさとへ

### 義援の手を (二)

会長 金子 誠

副会長・事務局長 深町 共榮  
会計理事 坂口 典和

義援の中間報告として御礼「その一」を 2019 年の日本ダボス no. 32 でお知らせしました。その後、12 月末の締切までに事務局へ届いた義援と、これらを上田市へ寄贈した速報をしらかば通信 no. 24 で御礼「その二」としてお知らせしました。

しらかば通信は会員皆様と上田市行政の方々だけに送られているもので、ふるさと真田町にお住まいの方々はこれらの情報をご存知ではありません。

したがって、重複をいとわず「その二」以降から上田市への寄贈成就までの動きを本誌へ掲載して、本会の手による義援活動をここに纏めることにしました。

#### (1) 御礼「その二」

一 期間 2019 年 11 月 21 日から同年 12 月 31 日の口座閉鎖まで

#### 二 右期間の総額

342,000 円

#### 三 ご芳名 (五十一名、敬称略)

鈴木郁夫、牧内隆志、堀内トミ子、山本香織、野村勝太郎、大橋けさ子、荻原啓治、半田喜章、平田金子、久保新一、鈴木民子、岩崎みち子、堀内重男、小林重利、石巻哲夫、牧内泰男、橋詰吉万雄、鈴木マツ子、館野清實、加賀見昌子、横山たか子、小林孝雄、清水彰子、

清水民子、関 弘吉、柳沢喜三郎、宮本 優、追木道子、太田秀則、新井孝次、成澤今朝信、堀内寅次、宮澤達人、山口元彦、金子 誠、深町共榮、柴田小夜子、神田幸雄、一之瀬和夫、坂口典和、黒川宣子、岩井泰子、塩沢和政、三井芳郎、中島正江、神林 森、野間亮子、堀内敏文、若林幸一郎、堀内敏夫、堀内耕吾

右の方々へは会長より「義援金納入の御礼状」をお送りしました。その文面は no. 32 に掲載したものと同文です。

#### (2) 義援に賛同された有志 総人数と義援総額

#### ○義援活動の期間

2019 年 11 月 9 日から同年 12 月 31 日まで。

#### ○有志 96 名

総額 744,000 円

#### ○上田市への贈呈額

727,198 円

(前項総額から振込手数料

16,802 円を差し引いた金額)

〔原稿〕入稿 2020 年 3 月 25 日

## 有志の意志を

### 上田市へ贈呈

会長 金子 誠

副会長 深町 共榮

皆様から寄せられた義援金は上田市の要望により「支援金」(注1)

の名称で目録を冠して贈呈することになりました。

#### 目録の贈呈

一日時 令和 2 年 1 月 23 日 (木)  
14 時 30 分より 15 時まで

二 場所 上田市役所第一応接室

三 出席者 (敬称略)

東京真田町の会

会長 金子 誠

副会長 深町共榮

上田市

市長 土屋陽一

市議会議員 古市順子

市議会議員 佐藤論征

真田地域自治センター

センター長 山崎完爾

振興課長 塚田雅彦

政策係長 宮崎忠博

政策係主任 望月領都

#### 四 目録贈呈

〔支援金目録〕

一金 727,198 円

この目録は金子会長から土屋市長に贈呈されました。

(写真等を 19 頁に掲載しました)

#### 五 贈呈式後の懇談

司会 振興課長塚田雅彦

贈呈のあと、10 分ほどの短い時間でしたが、会長金子から支援の趣旨披露と会員有志の意思を次のようにお伝えしました。

のようにお伝えしました。



「台風19号による甚大な災害により、郷土愛の強い会員の皆様に懐かしい、別所線の赤い鉄橋の崩落と心に残るふるさと真田地域の惨状をお知らせし、早期復興を願いたく微力ではありますが全会員の皆様に支援活動のご協力をお願いしました。この呼びかけによって、会員144名中96名(67%)の皆様から募金を頂くことができました。この右総額を只今贈呈させていただきます。」

またお忙しい中を出席頂いた市議員二氏には、災害状況および調査活動の資料提供を頂いたことについて、厚くお礼を申し上げます。

#### 「土屋市長から感謝の辞」

ふるさとを思ってくださいる皆さんの熱い思いに心より感謝します。皆さんの願いを受けて、災害復興に向けて一生懸命努めていきます、との熱い感謝の辞をいただきました。

#### 「東京真田町の会の紹介」

懇談会の司会者塚田課長から本会について、設立経緯、組織、および年間行事などについてご披露いただきました、との要望がありました。そこで、会長から本会の活動について概要をお話し申し

あげました。

#### 贈呈を終えて

「会長から有志の皆様へ御礼」  
私たちが会員は、「心のふるさとさなだまちうえだ」にいろいろな思いを懐き、深い感謝の念を持っており、微力ですが故郷への恩返しのできたのも、培ってきたふるさととの皆さんとの交流がそうさせたのであろうと思っております。

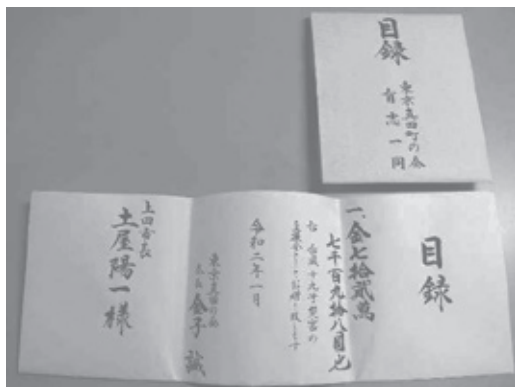
活動の端緒は、ふるさと旅の直後に開催した理事会において、顧問方から発せられた「ふるさと義援」の提案でした。その後の手はずや準備は、当会が遭遇した初めての試練となりました。

皆様の機敏な対応と連携によって、本会の活動のひとつがここに成就したことを嬉しく思います。  
(注1) 義援金と支援金は以下のよう異なる。「義援金」被災者に直接渡されるお金である。しかし、(赤十字社などを介し)被災者へ平等に渡すまでには被災しているいは事故の時点からかなりの期間が失われる。「支援金」被災地で活動を行う団体や機関へのお金である。

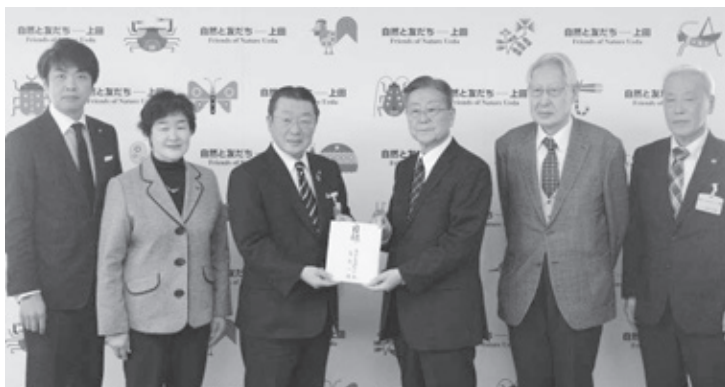
☆

☆

3月25日  
「原稿」依頼  
2020年1月28日、入稿



目録 (撮影は真田地域自治センターによる)



目録の贈呈 (左より市議佐藤、古市、土屋市長、金子、深町、山崎)

《広告欄》

## 山口法律事務所

弁護士 山口 元彦

〒184-0012 東京都小金井市中町 2-19-6  
TEL 042-407-2551 FAX 042-407-2551

誠実に、確実に、そして親切に

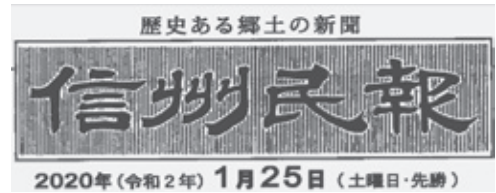
#### 取扱い事件

不動産に関する問題 相続問題  
金銭問題 交通事故  
刑事事件・少年事件 その他

**東京真田町の会が災害支援金贈る**  
**台風19号後に「ふるさと」訪問**

上田市真田町出身者でつくる「東京真田町の会」(会員144人)の金子誠(会長、埼玉県在住、真田町中出身)、深町共榮(副会長、市内真田町)は23日、台風19号災害の支援金として市へ72万円余を届けた。

## 支援金贈呈ニュース二例



立。関東地域の一環として設けられた。金子誠(右)と深町共榮(左)は、台風19号災害の復興を願う。金子誠(右)と深町共榮(左)は、台風19号災害の復興を願う。

同会は昭和63年、真田町発足30周年記念事業の一環として設立。関東地域の真田町出身者を会員とし、相互の親睦を図るとともに「ふるさと訪問」を行うなどして故郷との交流を深め、相互の発展に寄与することを目的に活動している。

同会は台風19号後の10月28日、29日、今年度の「ふるさと訪問」を実施。金子誠(80)は、「その際、ふるさと真田地域の惨状を目の当たりにし、また上田電鉄の赤い鉄橋の崩落など台風災害の現実を知り、何とかしなくてはと思います。会員全員に被害状況を知らせ、義援金と呼びかけた」と話す。募金には96人が応じ、総額72万7198円が集まった。

金子誠は目録を土屋陽一市長に手渡し、「会員の約87%が寄付してくれました。会員は郷

2面

別所線の早期復旧願う署名報告  
 上田女短幼稚園児が「みそ造り」

3面

AI・IoT活用セミナー開催

## 東信ジャーナル

2020年(令和2年)2月5日(水曜日) (4)

CATV本日のみもの

UCV1ch上田

6:00 UCVレポート  
 6:30 おおきなあれ 海野保育園  
 6:40 おはなしランド  
 6:50 上田市成人式 塩田公民館  
 9:50 上田市成人式 真田中央公民館  
 17:00 UCVレポート

UCV2ch上田

6:00 UCV杯ビーチボール大会  
 女子Dブロック  
 8:00 Eブロック / 9:00 Fブロック  
 10:00 上田自由薬校 基調講演

丸子テレビ放送

6:15 旬味の滋味  
 9:00 腰越ふしぎ探検隊 発足記念講演～ふるさとに歴史を託して～  
 12:00 塚田けんちのみんなのラーメン  
 15:00 2020年元旦 音楽村から初日の出  
 18:00 ケーブルニュース

CTK小諸 12ch

6:00 他 CTK NEWS&WIDE  
 6:55 他 ぐるっとふるさと  
 7:30 他 商工会議所旬鮮情報  
 8:30 他 びびびくらぶ / 8:50 他 広報こもろ  
 18:30 他 CTK NEWS&WIDE

長和CTV嵐塚の里ゆいねっと

8:30 (再) 第59回上小中学校吹奏楽交歓演奏会 午後の部

## 東京真田町の会が支援金 台風19号災害の復興願う



土屋市長に支援金を渡す金子誠(中央)と深町副会長(右)

上田市真田町出身の「東京真田町の会」は、このほど、台風19号

災害の復旧、復興に役立ててほしいと上田市に現金72万7198円を寄付した。

市ふるさと納税(台風19号災害支援)で寄付。金子誠(80)は埼玉県北本市・上田市真田町出身。上田市真田町が市役所を訪れて土屋陽一市長に目録を手渡した。

同会は毎年開いてい

金子誠は「会員の67%から支援金が寄せられ郷土愛の強さを感じた。微力ではあるが役に立ててほしい。復興をよろしく願います」とあいさつ。

土屋市長は「被害は多方面にわたっており、復旧、復興に向けて大切に使用していただきたい」と感謝した。

「記事提供」  
 ①信州民報・真田地域自治センター地域振興課提供。  
 ②東信ジャーナル・副会長深町共榮様提供。  
 贈呈式および目録の撮影は同課によりまします。ここに厚く御礼を申し上げます。



## 想い出の川遊びと

令和元年東日本台風

清水 民子 (曲尾・上原)

清水 彰子 (東京都)

母の生まれ故郷の真田町。毎年、夏になれば一ヶ月以上遊びに行かせて頂き、最後の二日間は父が迎えに来る。そんなことは中学に入るまで続いていたと思う。

母が嫁いだのは麻布(六本木)。

今は都会、なんだけれど、江戸時代は山の手という、のどかなところだったとか。母は「何もかも長野とは違う」と驚いたらしい。

信州のおばあちゃんの家の中には、ひまわに蒼く小さな葡萄、畑に行つて祖母はナスやキュウリをもういでくれる。青い空が広くて、暑いけれど吹く風の量が多い。門の脇に電線から落ちてしまったツバメだったかスズメだったかは、まだ温かかった。小さな蟻達は、行列をつくつてどこかへ連れて行くようにして、「無理だよ」と声にした。

すぐの裏手に川があり、冷たい水の河原で遊ぶのは楽しみだった。石を動かすと隠れていた小さな魚や蟹がビックリしていたみたい。流れの渦が綺麗で、夏休みの宿題に絵を画くのに、川の色には水色や、灰色や、黄緑と白を混ぜてみた。

「川には子どもだけで行かないように」と大人に言われた記憶がある。「水は怖いんだよ」と従兄弟が真面目な顔で教えてくれたのが可笑しかった。川幅も狭く、石もいっぱいあって静かな音しかなかった。「あの川が、怖いなんて！」ただ、河原の石が日によって大きかったり細かかったり、川の景色は毎日同じではない、これは不思議だった。

昭和に生まれたわたくしが小学校低学年だったその夏。移動前には都電がチンチンと音を鳴らしていたのを確かに聴いていた。でも信州から戻ったときにチンチン音は聴けなかった。首都高速道路の工事が始まる、東京の街が様変わりしていく前兆だった。

次の次の夏休みあたりに、長野にも台風が来た。ニュースではアナウンサーが「雨風が強いため注意をしてください」と大声を上げていた。翌朝、大人たちは開口一番に「川には行かないように」その頃はイイ子だったんだ、言いつけを守っていたから。

2019年の台風は恐ろしかった。友人の家は東京と神奈川の境にある多摩川から水が入り込んで床下浸水。あの夜はずっとメールで「大丈夫？避難したの？何に困ってる？」忙しかった。夜が明けてきて陽の光が眩しくて。東京にも傷跡を残

すなんて：ニュース速報で自然災害の恐ろしさを知った。けれど、安心するのは早過ぎた。

「千曲川が！」あの、大きく雄大な川に、凄いい形で流れも速い大水がテレビから飛び込んできた。母も固唾を呑んでいる。堤防を越える黒いウネリが憎らしかった。仕事で金沢出張の際に新幹線からチラと見える千曲川が「わたくしの母の故郷、雄大な川」と誇らしかった、あの川が。ただ、今は、流れる映像を観ながら、近隣の方々の安否を祈るしかない、願うしかない、無力な自分。自然の力にねじ伏せられる。情けなかった。

「水」は崇高でいて暴力的でもあること。「水」が景色を変えるとすること。子どもの頃の川遊びで、日々、景色が違ったのは、これだったんだ！

当たり前の自然があつて、そこに埋もれて夏を過ごせた都会の子どもは、とてもラッキーだったんだ。だって、わたくしの、東京生まれで東京育ちの娘には、田舎が無いんだもの。だから「真田町」は、家族みんなの心の故郷。大切な場所。爪あとは記憶に残しながらも、前に進む道は続く。これから、ずっと、信州・真田町の皆さまと共に、広い空を見上げて、明るい笑顔で過ごしていけますように！

《広告欄》

空き家・留守宅・空き家の管理 お任せください

大切なお家を  
建物のプロが  
しっかり守ります。

お電話ください

(株)空き家のおまわりさん

〒386-0151 長野県上田市芳田 468-6

(株幸和建設内)

代表取締役 宮下 幸良

TEL 0268-36-3114

FAX 0268-36-3838

mail : info@kowa-kensetsu.jp

【謝辞】2019年11月に台風19号によるふるさと惨禍に義援のご意志を頂きました。執筆はご息女によるものです。厚く御礼を申し上げます。写真は洗馬川、背景に架かるのは曲尾と萩を結ぶ岩下橋(?)です。

【原稿】依頼 2020年8月11日、入稿9月23日



洗馬川に架かる岩下橋(?)の河原で



我がふるさとに

思いを寄せて

顧問 中島 正江

(戸沢・関谷)



去年、長野地方の豪雨災害に上田真田と地域全体には大変な出来事でした。

本当にお見舞い申し上げます。

天気予報を見て、19号よんとか長野方面真田方面にも行かないように、と祈っておりましたが、大変な災害になってしまいましたね。

子供の頃夏休みになると、戸沢と石舟を結ぶ橋の下あたりで川に入り少し深みのあるところでは石をよけてプールにみたて腹ばいになり、泳ぐどころかお腹が石にあたりながら泳いだ気分になって、又浅いところではざるをもって石をはいで、かじかを沢山とってネコのえさにしたりして、毎日遊んだ川がこんなに恐ろしい事になったとは思ってもみませんでした。

あの近辺はつくし団地ができる

とき、護岸工事をしてもらったとの事でしたが、戸沢橋の下

の崖はちよつと高いところでした

ね。まさか崖崩れがおこるとは信じ

られませんでした。その下流で町の自治センター附近はちよつと低いので川遊びや釣りをやるには良いところだったかなと思っていました。ところがその下流では橋が崩れ、大変なことでした。

東京真田町の会でも皆さん集まって寄附をさせていただきましたが、

信州民報の記事で少しずつ復旧されてきたところを知っても、でもまだまだだなあーと独り言を云っていたり、戸沢付近の所ばかりでなく菅平、渋沢、大日向、角間、横沢方面、中学のときに行った今は菅平ダム

の近くに山林学校とでもいうのかしら、泊りがけで行ったところ、小さな川で男子はやまめを採ってきて先生たちはそれを焼いて食べていました。今はダムの底でしょうか。そんな川でも大雨はダムへ流し込んだのかしら、恐ろしいね。

代表取締役 宮下 毅

〒386-0015 長野県上田市常入 1-7-104  
Tel 0268-23-7896 Fax 0268-23-7813  
e-mail t\_miyashita@chikumabiso.co.jp



悩む前に  
相談して  
良かったわ!!

アパート、マンションから  
一般住宅までリフォーム・  
メンテナンスの全てをお引き  
受けいたします。  
お気軽にお声かけ願います。

《広告欄》



とか(該紙による)、又今は、新型コロナウイルスによる記事は毎日あつて、長野では何人かなーって、これによって菅平高原のスポーツ合宿などはできなく大変な被害ですね。

該紙によれば、菅平小中学生たちによる名物の「おいしいトウモロコシ」を作って売って学校で使う教材を買ったり、と地域の人たちとも協力しているそうです。少ないながらも自分たちで何かをしようと思う気持ち、またそれを実行に移す行動力ってすばらしいです。

私の孫たちも毎年の正月に菅平へスキーに行っていますがこの年末年始はどうでしょうか。東京でも毎日トウモロコシの話ばかりです。又上田市で市立二中の生徒会ではアルミ缶を回収しその収益金でマスク500枚を市社協に贈ったとのこと(該紙による)。

私は老人ホームへ勤めていることから、コロナに罹らないよう外出をひかえ、また他人にも会わないよう過ごしています。

本原の方はどうかと思ひ「今年の桃やリンゴのときはどうですか?」と本原の方にたずねたところ「桃もおいしくなっていますよ」とのことでした。

この9、10月にかけておいしい桃を取り寄せ、知り合いにおすそ

分けしとても喜ばれました(7、8箱頼んだかな)。またおいしいリンゴを食べたく思います。

どうか上田市の皆さん、そして真田町の皆さん元気に、お身体に気を付けて頑張ってお過ごしください。(元会長)

【原稿】依頼 2020年9月10日、入稿10月14日

## 台風一九号に

### 見舞われて

副会長 柴田小夜子(菅平・市村)

昨年の一九号台風ではふるさとの皆さまには大変な苦難な事で心よりお見舞い申し上げます。そして、今年は新型コロナウイルスで日本中が大変な毎日です。

いろいろな行事、イベント、会議など全て見送りや中止になって身動きが取れない毎日です。東京圏の感染は止まる気配はありません。何をどうすればよいのか? 目に見えないウイルスとの戦いは、苦

難との戦いです。子供たちは登校してはおりますが、机にはプラスチックのつい立てがあつて友達との

の会話も制限されています。先日は運動会も行われましたが、かけっこクズム(表現)体操のみでも自由のびのびとは動けない様子でした。

こんな状態がいつまで続くのか

な? 全く先の見えない状態です。

近所の買い物や病院へは何とか行ける状況ですが、他は思う様にはできません。特に高齢になると周りの人が気遣って下さるのでありがたいですけど・・・

こんな日々ですが、今年は台風の襲来が遅かったのですが、あちらこちらで被害があつて大変です。私が小学生の頃には伊勢湾台風、室戸台風と、とても大きな台風にあいました。

菅平も大雨と大風で大松山からカラマツの太木がバタバタと倒れ、風の通った後は丸太の川のようになっていました。道路も寸断され、バスも三カ月ぐらいは通らなかつたのではないかな・・・

もちろん電気も来ずに停電でランプとろうそくの生活になって、朝は明るくなつたら起きる。夕食は早めに食べて、寝る。ほかに何もできない、そんな生活が何カ月も続いたことを思い出しました。ほんとうに台風はこわかつた・・・

最近では異常気象で何が起るかわからない。今までに経験のないことばかりで、何にどう気をつけたらよいのか・・・

皆様、それぞれの地域にあつた智慧を出しあい、手を携えて進みましょう。

【原稿】依頼 2020年10月10日、入稿10月15日

《広告欄》

ゆっくり湯治してほしい温泉宿。かけ流しの温泉でココロも身体もほかほか。  
心を込めた手作り料理も宿の自慢です。  
無料送迎バスで、皆様のすてきな旅をお手伝いします。

信州鹿教湯温泉 水車のまわる宿

TEL 0268-44-2236

〒386-0323 長野県上田市鹿教湯温泉 1422



# 会員皆様の近況(注)

(敬称略・旧姓・出身区)

1 荒木廣之(下原)  
異常ありません。

2 石巻哲夫(曲尾)  
曲尾の出身なので曲尾駅の写真

大変懐かしく見せていただきまし  
た。70を過ぎてなお故郷への思い  
は強くなっています。ありがとうございます。

3 飯嶋まさい(西牧・穴沢)  
「ダボス」と「しらかば通信」を

楽しみに拝読しております。米寿  
を迎えましたが、早朝5:30からの  
ウォーキングや都立公園でのラジ  
オ体操などに生き甲斐を感じてお  
ります。

4 一之瀬和夫(大日向)  
COVID-19を制するのは裾野の広

い基礎研究の実績をもつ国?でし  
ようか。大袈裟に言えば、生き方を  
考える、防衛生活のスタイルを確  
立しながら人類は未知との闘いを  
何年かは続ける覚悟になりそうで  
すね。いま、日本で「コロナ死が隠  
されつつある」ことは私の一番心  
配しているところです。

5 岩崎みち子(正木・菅平)  
今年になりコロナのためすべて

が中止になり本当に残念です。一  
日も早く世界中のコロナが絶滅す  
る事を願うばかりです。

6 上ノ山勝信(堀内・三島平)  
早くコロナが終息して欲しいで  
す。

7 内海宏光(大庭)  
元気にやっています。

8 荻原啓治(四日市)  
健康第一、日々楽しく時を過し  
ています。

9 大橋けさ子(山本・菅平)  
コロナと熱さで外出も出来ずウ  
ンザリしています。一日も早いコ  
ロナの終息を願って、又皆様にお  
会いできる日を楽しみにしていま  
す。

10 川上年美(宮崎・菅平)  
今年は皆様にお会い出来ないの  
が残念です。来年はお会いするの  
を楽しみにしております。私はコ  
ロナに負けずがんばって元氣でお  
ります。皆様もがんばってください  
ませ。

11 小林正子(堀内・下横道)  
お世話になっております。今年  
はコロナ禍の為総会が出来ず皆様  
にお会い出来ませんでした。来年  
はお会い出来るとういのですね。

12 小林重利(入軽井沢)  
新型コロナウイルスの感染拡大  
に猛暑が追い打ちをかけておりま  
すが、金子会長様以下役員の皆様  
大変ご苦勞様です。どうぞ呉々も  
ご自愛くださいますようお願い申  
し上げます。

13 斉藤民子(山浦・下塚)  
ボランティアでマスクもビニ  
ール袋の防護服も造りました。疲れ  
ました。当地にもコロナが遊びに  
来ているといううわさあり、しら  
かば通信 no. 33が発行される頃  
にはコロナも静まっている事を切望  
しています。

14 坂口典和(真田)  
コロナにも負けず、暑さにも負  
けず。寒さにも負けず、よく食べよ  
く寝てよく動く。「自訓」より抜粋。

15 笹沢けさむ(久保・横沢)  
皆様元氣していますか。自然の素  
敵な信州には思い出がいっぱいで  
す。しらかば通信を拝見しながら  
ふるさとに元氣をもらって生活し  
ています。

16 佐藤昌江(柳沢・萩)  
懇親会中止よく分かりました。  
本当に大変な事になりました。一  
日も早く正常な日々になることを  
願っております。役員の皆様には  
お体にお氣を付けてお過ごしくだ  
さいますように。お世話になって  
おります。ありがとうございます。

17 椎名巳津男(山口・横沢)  
今年は思わぬコロナ感染で全て  
の動きが封じられ困惑しております。  
こうした情勢の中で、役員のご  
苦勞に感謝申し上げます。

18 塩沢和政(大日向)  
代筆より「字が小さくて見にく  
く

《広告欄》



代行 ゆきむら

長野県公安委員会認定第 273 号：代行保険完備

代表 飯島 嘉夫

TEL 090-1504-1196

〒386-2202 上田市真田町本原 2749

営業時間 20:00 ~ 3:00



リンゴの 大松農園

小玉のサンふじ・シナノスイートは、  
2 月末まで発送いたします。

連絡先

〒386-2203 上田市真田町傍陽 3774-7

堀内 昭一

Tel.090-4017-3721 Fax.0268-75-3355



い」と申しあげました。拡大コピーしてあげました。

#### 19 柴田小夜子(市村・菅平)

新型コロナウイルス感染で、大変な毎日をお過ごしだと思います。春の総会では皆様にお会い出来る事を楽しみにしております。

#### 20 白井 彰(曲尾)

スマート「しらかば通信」を目指していただきたい。

#### 21 杉崎壽三男(菅平)

皆様のおかげで会が盛り上がりつつあります。今後もしっかりお願い申し上げます。

#### 22 杉村房枝(落合・萩)

大変にお世話になって居ります。しらかば通信臨時号を拝受させて頂きました。誠に有りがとうございました。さて、コロナウィルスに付きましては不安でございます。ニュースなどで日々驚きましたり、心配な事でございます。

#### 23 鈴木邦子(横尾)

理事さん、お疲れ様です。手薄になり大変かと存じますが、東京真田町の会の為お体に気をつけてご尽力の程宜しくお願いします。

#### 24 関 弘吉(中組)

しらかば通信の送付ありがとうございます。コロナ禍にまけず頑張っています。

#### 25 武田守央(真田)

新型コロナのためゴルフコンペも中止になっておりましたが、7月

27日に久しぶりに出来ました。元気でやっております。

#### 26 館野清實(堀内・田中)

コロナに負けず元気で毎日過しています。みな様とお会い出来ないで残念です。

#### 27 塚田加代子(宮崎・横尾)

年が明けてから母が亡くなり、新型コロナウイルス感染のため、春の彼岸にも行けなかった。新盆を迎える来月もまだ感染症はおさまりそうにない。

#### 28 角田和美(清水・菅平)

役員のみな様いつもお世話になっていきます。これからよろしくお願いします。

#### 29 中島正江(関谷・戸沢)

本年も 色々とお苦勞様でした。何のお手伝いも出来ずすみません。早くコロナの事が納まればよいのですが、私も介護施設に務めておりますのでとても心配です。今、色々とお書こうかどうかまよっています。できましたら早急に送りますので宜しくお願いします。

#### 30 野村勝太郎(大日向)

今年は10月開催との事で久しぶりに皆様に会えるかと楽しみにして居りましたが残念です。コロナには勝てませんですネ皆様。ご苦勞様ですがご自愛ください。

#### 31 深町共榮(山岸・田中)

今年度から神田幸雄さんの後をうけ事務局を務めることになりました。

した。何かと不行き届きのことが多いと思いますがよろしく願います。

#### 32 堀内 幸(下横道)

総会中止の連絡を頂き誠に残念ですが仕方ない結論と理解して居ります。年会費は早速払込みます。飯島慶三郎様の御逝去を知りご冥福をお祈り致します。

#### 33 堀内照美(上横道)

残暑お見舞い申し上げます。皆様のご健勝をお祈り致しております。

#### 34 堀内敏夫(中横道)

コロナの影響で帰省を控えています。義弟、義妹が時々畑の手入をしていてくれますが、やっぱり気になります。早く終息して欲しいです。

#### 35 堀内 操(高寺・竹室)

いつも連絡を頂き有り難うございます。欠席ばかりで申し訳ありません。埼玉は暑いですね。無理をしないでこの夏をのりきろうと思います。

#### 36 堀内博典(三島平)

故郷情報を大変有難く拝読させて頂いていただいている会報受信だけの会員になっておりますが、これからはよろしくお願い申し上げます。

#### 37 堀内 勝(下横道)

コロナー熱中症に負けないように。

#### 38 八木五郎(中横道)

残酷暑お見舞い申し上げます。コロナ感染拡大、熱中症。不安の会の運営ご苦勞様です。まだ現役(パート)で今の勤めが出来る事幸せに思います。この時期、7/30 8/1 穂高岳へ独標(2700米)視界ゼロで撤退。奥飛騨温泉郷の常宿で大満足。

#### 39 山寄静次(横尾)

役員御一同ご健勝を祈ります。

#### 40 山口元彦(横沢)

6月に事務所を千代田区九段北から小金井市(自宅)に移しました。通勤がなくなり楽になりましたが、運動不足が心配です。

#### 41 柳沢郁政(戸沢)

今年は自宅近くの森林公園が7時に開けてくれるので出かけています。ベンチに腰掛けスマホで音楽を聴き水筒のコーヒーを飲んで、コロナ禍をしばし忘れられます。

#### 42 柳沢喜三郎(萩)

今年12月に79歳になります。概ね元氣、年齢相当のところ。

#### (注) 令和2年議案の書面表決

にあたり返信葉書に記載された会員の近況、締切8月20日、全84通内近況記載42通。

〔原稿〕入稿2020年10月20日

☆



☆

議事 令和元年度  
決算報告書・会務報告書  
議事 令和二年度  
事業計画・収支予算

会長 金子 誠

会長挨拶にありましたように、COVID-19の蔓延に伴う罹患を回避するため、5月17日開催予定であった第33回総会・懇親会を10月25日に延期しました。

これにともない、皆様にはしらかば通信 no. 25 臨時号(2020年7月25日付)で書面により標記四議案のご審議を「表決」にてお願いしました。会員各位への発送数は140でした。

およそ一カ月後の8月20日の締切までに返信回答いただいた葉書数は84、四議案のそれぞれについての表決数はいずれも84でありました。

そして、四議案それぞれについて賛成数は84でした。したがって、同年8月21日現在、会則第9条3項に則り四議案は承認されましたことをここに報告します。

## 令和元年度決算報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日

| 収入の部   |           |           | 支出の部   |           |           |
|--------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|
| 科目     | 予算 /円     | 決算 /円     | 科目     | 予算 /円     | 決算 /円     |
| 通常年会費  | 220,000   | 216,500   | 総会懇親会費 | 400,000   | 458,333   |
| 総会懇親会費 | 350,000   | 399,500   | 会報発行費  | 420,000   | 406,380   |
| 上田市補助金 | 300,000   | 300,000   | 事業費    | 120,000   | 81,368    |
| 広告収入   | 160,000   | 115,000   | 事務通信費  | 45,000    | 35,281    |
| 寄付金等   | 15,000    | 2,000     | 印刷費    | 45,000    | 11,692    |
| 利息等雑費  | 3         | 2         | 会議費    | 100,000   | 51,300    |
|        |           |           | 渉外費    | 70,000    | 80,000    |
|        |           |           | 交通費    | 90,000    | 45,421    |
|        |           |           | 雑費・手数料 | 70,000    | 18,815    |
|        |           |           | 特別会計貸出 |           | 42,301    |
|        |           |           | 予備費    | 48,244    | 0         |
| 当期収入合計 | 1,045,003 | 1,033,002 | 当期支出合計 | 1,408,244 | 1,230,891 |
| 前年度繰越金 | 363,241   | 363,241   | 次期繰越額  |           | 165,352   |
| 合計     | 1,408,244 | 1,396,243 | 合計     | 1,408,244 | 1,396,243 |

### 令和元年度特別会計決算報告書

(台風19号被災支援金)

令和元年11月1日から令和2年1月23日

| 決算額 |         |         |
|-----|---------|---------|
| 科目  | 収入の部/円  | 支出の部 /円 |
| 寄付金 | 744,000 | 727,198 |
| 雑費  |         | 16,802  |
| 諸経費 |         | 42,301  |
| 借入金 | 42,301  | 0       |
| 合計  | 786,301 | 786,301 |

### 特別会計についての説明

昨年の11月に台風19号災害の義援金を募ったところ有志96名の方から、総額744,000円が集まりました。手数料16,802円を差し引いた額、727,198円を 令和2年1月23日に上田市に出向いて贈呈しました。

ここで、左表に示す諸経費は、募金にあたり使用した経費であり、これには印刷費、通信費、交通費等を含みます。当該諸経費は会の活動を遂行するための経費でありますので、東京真田町の会が負担しました。

※上田市が寄付者個人に発行した領収書は、振込手数料が差し引かれた額となっています。

上記に2件の収支決算を報告いたします。令和 2年 3月31日  
上記2件の決算報告書は適正かつ真実であるものと認めます。

会計 坂口典和 ㊞  
監事 深町共榮 ㊞  
監事 荻原啓治 ㊞



## 令和元年度会務報告書

平成31年

- 4月17日 春季真田会・上田会合同ゴルフ大会 参加1名(飯島慶三郎)
- 4月22日 理事会：令和元年度事業計画案及び予算案の決定、役員改選補充  
第32回総会の最終的準備ほか、今後の事業予定等
- 4月29日 第36回上田さなだ祭り 金子会長、神田理事参加

令和元年

- 5月20日 第32回総会・懇親会開催(アルカディア市ヶ谷) 会員39名  
上田市副市長、正副議長、議員(3名)、議会事務局、真田地域自治センター長、地域振興課職員、JA真田地区理事、同事業部長、同事業次長、同女性部(4名)、同菅平店店長、東京上田会会長、東京丸子会会長、以上19名のご来賓方々の出席を賜りました。なお、真田地区女性部の皆様による特産品PR販売は昨年同様に大変好評でありました(全出席者58名)。
- 7月1日 理事会：第32回総会・懇親会の成果と反省点につき協議、懇親会費等財務上の評価、3月までの行事予定と日程の決定など。
- 7月21日 四季めぐり「神代植物公園散策」実施、参加6名(含むこども1)
- 8月4日 第34回真田まつり、金子会長、柴田副会長、深町副会長参加
- 9月2日 理事会：秋の行事の取り組みゴルフ大会等、会員親睦旅行会の企画取り組みにつき協議決定、「日本ダボス」第32号の原稿募集・編集方針の協議など。
- 10月4日 上田会東京の集い「浅草ビューホテル」金子会長 参加
- 10月18日 第15回秋季真田会・上田会合同ゴルフ大会(武蔵野ゴルフクラブ)
- 10月28日～ 会員親睦ふるさと訪問旅行会実施 参加10名  
29日 (懐かしきふるさと小・中学校1周の旅)
- 11月10日 東京丸子会総会「アルカディア市ヶ谷」金子会長 参加
- 11月11日 台風19号災害義援金お願い趣旨検討、会員宛発送(144名)
- 12月21日 「日本ダボス」第32号発行・発送

令和2年

- 1月23日 上田市庁舎において台風19号災害支援金贈呈式 金子会長、深町副会長 出席  
(金額727,198円、96名の方のご厚意による)
- 2月3日 理事会：日本ダボス第32号発行結果の検討、第33回総会の内容及び準備、仮決算の検討・承認、会員増加、財務関係、その他
- 2月22日 信州上田観光キャンペーン(たまプラーザ駅)中止(新型コロナウイルス)
- 23日 同上
- 2月28日 上田市井上副市長御尊父様御逝去 副会長 深町共榮 参列
- 3月5日 第33回総会懇親会延期を決定(新型コロナウイルス)  
5月17日(日) から 10月25日(日)
- 3月予定 春季真田会・上田会合同ゴルフ大会中止(新型コロナウイルス)
- 3月31日 しらかば通信24号(総会案内等)発行と発送

## 令和2年度事業計画

- ① 第33回総会及び懇親会の開催(令和元年5月19日)(コロナ禍により中止)
- ② 会報「日本ダボス」第33号の発行
- ③ 広報紙「しらかば通信」第25号の発行
- ④ ホームページの運営
- ⑤ 会員相互の親睦をはかるため、会員旅行会、ゴルフ会、特別企画四季めぐり、見学会等を開催する(コロナ禍のため、規模を縮小して実施、または中止)
- ⑥ 上田市との交流促進のため、ふるさと訪問・ふるさと特産品の宅配協力等、および各種文化・スポーツ行事への参加(コロナ禍のため、規模を縮小して実施、または中止)
- ⑦ その他

## 令和2年度収支予算

令和2年4月1日～令和3年3月31日

| 収入の部   |         | 支出の部   |         |
|--------|---------|--------|---------|
| 科目     | 金額/円    | 科目     | 金額/円    |
| 通常年会費  | 170,000 | 総会懇親会費 | 0       |
| 総会懇親会費 | 0       | 会報発行費  | 410,000 |
| 上田市補助金 | 300,000 | 事業費    | 90,000  |
| 広告収入   | 130,000 | 事務通信費  | 45,000  |
| 寄付金等収入 | 15,000  | 印刷費    | 25,000  |
| 利息等雑収入 | 3       | 会議費    | 40,000  |
| 前年度繰越金 | 165,352 | 渉外費    | 60,000  |
|        |         | 交通費    | 50,000  |
|        |         | 雑費・手数料 | 30,000  |
|        |         | 予備費    | 30,355  |
| 収入合計   | 780,355 | 支出合計   | 780,355 |

## 東京真田町の会役員名簿

令和2年12月1日現在

| 職名  |       | 氏名    |
|-----|-------|-------|
| 会長  |       | 金子 誠  |
| 副会長 |       | 深町 共榮 |
|     |       | 柴田小夜子 |
| 理事  | 監事    | 荻原 啓治 |
|     | 事務局長  | 深町 共榮 |
|     | 会計理事  | 坂口 典和 |
|     | 編集長   | 一之瀬和夫 |
| 顧問  | 小林 孝雄 | 山口 元彦 |
|     | 塩沢 和政 | 中島 正江 |

## 東京真田町の会

## 顧問 塩沢 和 政

(大日向出身)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田 1074-37

☎ 047-450-3348



|        |        |
|--------|--------|
| ⑨ 本原小  | ① 菅平小中 |
| ⑩ 上田駅  | ② 太郎山  |
| ⑪ 長小   | ③ 根子岳  |
| ⑫ 本原小  | ④ 四阿山  |
| ⑬ 傍陽小  | ⑤ 烏帽子岳 |
| ⑭ 真田中  | ⑥ 長小   |
| ⑮ 菅平小中 | ⑦ 真田中  |
|        | ⑧ 傍陽小  |

①～⑩は施設立地、あるいは山頂の標高/mを、⑪～⑮は在校生の人数を表しています。

ふるさと話題から  
地域自治センターだより「さなだ」  
(2020年11月号)  
上田草津線のバス運行開始。  
便数は季節により異なります。  
①12月、3月は1日2往復  
②4月、11月は1日1往復  
大人片道2千円。

## 現代舞踊内海流

## 舞踊教室

東京真田町の会顧問

中島 正江  
(内海鉄政望)

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見3-22-18-103

☎ 03-6411-0703





## 東京真田町の会 会則

(名称及び事務所)

第1条 本会は東京真田町の会と称し、事務所を会長の指定するところに置く。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに故郷（ふるさと）との交流を深め相互の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、第2条の目的を達成するため次の事業を行う。

(1) 会報及び会員名簿の発行

(2) 親睦会、講演会、懇親会等の開催

(3) ふるさと訪問等必要な事業

(会員)

第4条 本会の会員は、原則として、東京都、神奈川県、千葉県および埼玉県に在住する真田町出身者とその親族及び真田町関係者で、本会の趣旨に賛同する者をもって組織する。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

(1) 会長 1名

(2) 副会長 3名

(3) 理事 若干名（会計理事2名、監事2名を含む）

(役員の選任)

第6条 役員は理事会において会員の中から推薦し、総会において選任する。

2 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員の任務)

第7条 役員の任務は、次のとおりとする。

(1) 会長は本会を代表し、会務を総括する。

(2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

(3) 会計理事は、会計を処理する。

(4) 理事は、本会の重要事項の協議に参画する。

(5) 監事は、本会の会計を監査する。

(顧問・相談役)

第8条 本会に顧問及び相談役を置くことができる。

2 顧問は理事会で決定し、総会で報告する。

3 相談役は、理事会の推薦により会長が委嘱する。

4 顧問及び相談役は、本会の重要事項について会長の諮問に応じる。

(会議)

第9条 本会の会議は、総会および理事会とする。

2 総会および理事会は会長が招集し、その議長となる。

3 総会および理事会の決議は、出席者の過半数をもって決する。

4 総会は毎年1回開催し、会務報告、事業計画及び予算、決算等重要案件を議決する。

5 理事会は必要に応じ開催し、総会で決定する以外の重要事項を審議し決定する。

(部会)

第10条 事業の円滑な運営を図るため、本会に部会をおくことができる。

(経費)

第11条 本会の経費は会費・寄付金及びその他の収入をもってこれに充てる。

(会計)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月末日までとする。

(会則の変更)

第13条 本会則の変更は、総会の議決を得なければならない。

(その他)

第14条 本会則のほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この会則は、昭和63年9月10日から施行する。

(平成13年4月9日更新)



～ 会 員 消 息 ～ (令和元年 11 月～令和 2 年 10 月)

＜ 住 所 変 更 (敬称略) ＞

長田ムネ子 〒970-8026 福島県いわき市平字城東 3-2-3、セレーノ城東グランマックス 406  
板垣 正子 〒252-0029 埼玉県座間市入谷 5-48-4-106、座間入谷ハイツ  
川上 年美 〒164-0012 東京都中野区本町 4-21-22、ハイム奥村 101

＜ 退 会 (敬称略) ＞

長い間、本会の運営にご協力下さりありがとうございました。くれぐれも健康にご留意ください。  
青木 進、岩井泰子、清水征夫、堀内重男、三井芳郎、宮本 優

次回総会の予告

2021年度の第三十四回総会・懇親会は5月16日(日)、私学会館アルカディア市ヶ谷で開催する予定です。  
コロナ禍から解放され、のびのびとした世界がひらけることを切望していますが、難しい状況にあれば次の総会も中止せざるを得ません。これについては4月発行の「しらかば通信 no. 26」で理事会の判断を皆様にお知らせします。

会費払込みのご案内

年会費払込には本会専用の「払込取扱票」で郵便局にて払込下さい。  
この払込取扱票は右記しらかば通信に同封されます。同票には「通常払込料金加入者負担」と印刷されており、本会が払込料金を負担しています。  
当会の年会費は一千五百円です。したがって、同票で未納の過年度分をお支払いされる場合には、年度と金額を必ずご記入下さるようお願いいたします。

広告御礼

本誌第33号の発行にあたり広告をお願いしましたところ、多くの皆様からご協力を頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。

新会員ご紹介のお願い

つね日ごろ、会員の皆様には会の運営についてご協力と御助言をいただき御礼を申し上げます。

ふるさとを離れて幾数十年、志を同じくした同郷の私たちは、互いに励まし助け合うことを通して多くの困難や危機をのり越え、今日まで共に歩んでまいりました。ふるさととの交流および親交を深めることを目的に誕生した東京真田町の会(1988年9月設立)も、来年で33年目を迎えます。

私たちが育った昭和も遠くなっていますが、これまでの先輩役員がたのご努力、皆様のご協力を礎に、さらには真田町ならびに上田市のご支援のもと、一步前進の路を創りつつ運営してまいります。

皆様の友人、および知人で本会に推薦できる方がおいでしたら、会長あるいは役員までご連絡いただきたくよろしく願います。

編集後記

本誌の広告に御協力頂いた方々およびご寄稿の皆様に厚く御礼を申し上げます。  
COVID-19の襲来から1年がたちました。今後、何年かにわたりCOVID-19波に見舞われることへの覚悟が必要になると思われます。

同時に、冬場を見舞うインフルには、これまでの態勢を見直し家族一丸となつて早めに防衛しましょう。

三密回避は勿論のこと、三洗(手指・口腔・おもて)励行とともに、外出から帰つたら外套や外被類をぜひ屋外で掃きましょう。もちろん、履物拭きはそれ以上に然りです。この点、高温多湿のアジア諸国においては「入つたら靴を脱ぐ」習慣があり、中東のトルコなどでも「穢れを外から持ちこまない」という宗教的な理由からそれがあります。防疫の観点からも「靴脱ぎ慣習は手洗いに劣らず理に適つて」と考えておりますが、いかがでしょうか。一つ、西欧でコロナが流行するのは意外にも生活習慣の違いによるのかな?と考えることもあります。二つ、ネアデルタールの遺伝子を持つヨーロッパ人はCOVID-19の感染リスクが高いのでしょうか?ともかく、はやく消滅させましょう。

本号では昨秋の19号台風の豪雨によって崩落した別所線千曲川橋梁復旧の様相を上田市交通政策課山田様に執筆していただきました。19号の災禍は朝日新聞の第一面に写真入りで報じられていました。市民の期待をのせて、2021年3月の竣工祝賀(予定)の出走は撮鉄らの感涙で埋まりそうです。

連絡先 金子 誠 〒364-0035 埼玉県北本市西高尾 4-156、Tel・Fax 048-591-4728

表1 日本ダボスNo. 32で訂正のお願い  
(ホームページには訂正した後の冊子を掲載しています)

| 番号 | 頁    | 段      | 行             | 誤                | 正           |
|----|------|--------|---------------|------------------|-------------|
| 1  | 8    | 2      |               | 写真の配置            | 写真のみ左、右を入替え |
| 2  | 8, 9 | 同順3, 1 | 同順左1行<br>～右3行 | が想いを…<br>でございます。 | この4行分を削除    |
| 3  | 16   | 1      | 左より11         | …菅平店・店様…         | …菅平店・店長様…   |
| 4  | 27   | 3      | 8～7           | …であるか、…          | …であるほか、…    |
| 5  | 28   | 2      | 左より13         | 高畑悟朗             | 高畑悟郎        |
| 6  | 28   | 2      | 左より6          | 吉川栄光             | 吉川栄子        |
| 7  | 32   | 3      | 5             | …るKI氏と…          | …るTI氏と…     |
| 8  | 36   | 2      | 代表理事氏名        | 真島 實             | 眞島 実        |

杉崎壽三男様(菅平)より本  
会に一金一万円のご芳志をい  
ただきました。ここに厚く御  
礼を申し上げます。

令和二年五月吉日  
会長 金子 誠

## ご芳志御礼

## 今が方途を探る好機

一之瀬和夫(大日向)

コロナ禍で静かな時期、本会の先々を思案し、私たちができそうなことのいくつかをあげて会の意義を皆様と共に考えたく思います。皆様が目ごころ思い、また感じていることなど、凡そで結構ですから会長、あるいは副会長までお寄せ下さるようお願いします。

(1) **さなだ出身でなくても会員に**  
それには本会の会則を改正する必要があります。

具体的には、4条の文で「…親族及び真田町関係者で、…」のくだりを、「…親族及び真田町関係者に加えて、こよなく真田町を愛する者で、…」のように範囲を広げて、入会に際しての条件を緩めることです。

こうすることで、会員の友人や真田と縁のある町村に住まう方々と、今まで以上に親交を深めることができます。

会を新しい環境にもってくると、すなわち第三者との出会いの機会が増えることは私たちの日々を期待と緊張感が生まれることになり、これが活性化への一案とします。

出身は異なるものの、真田に関

心を懐く者が一堂に会するなどは、上田市観光課が促進している移住促進事業などにも通じることであろうと考えます。

## (2) 会員数の経年減少への対応

今後、年を追うごとに退会者は多くなりますので、本会のゆく先は語らずとも明らかです。総会の出席者数は減少しており理事の受け手もいなくなります。

会の体力があるうちにやっておくこと、それは時宜を得た「決断」の一言に尽きると考えます。

## (3) 支部さなだの運営は

本会に所属しふるさとへ転居した方、他府県から移住された方、訳あつて帰郷した方、および町在住で本会に関心をお持ちの方々へ声を掛け、この中心となっていたくのはどうでしょうか。この地へ移住された方には本誌への寄稿を、ふるさと旅のときには座談会などへのご出席をお願いし、ふるさと語りができます。

30日 「原稿」入稿11月

## お知らせ

ネット上で、「信州民報東京真田町の会」及び「東信ジャーナル東京真田町の会」で検索すると台風19号支援金の記事を読むことができます。

はじめ  
音楽スタジオ 肇  
お問い合わせ(荻原)  
090-8442-2317  
keiji-1214-ogi@docomo.ne.jp  
http://ameblo.jp/music-studio-hajime

中野区中野2-12-12 勸業ビルB1F  
JR中野南口より徒歩3分

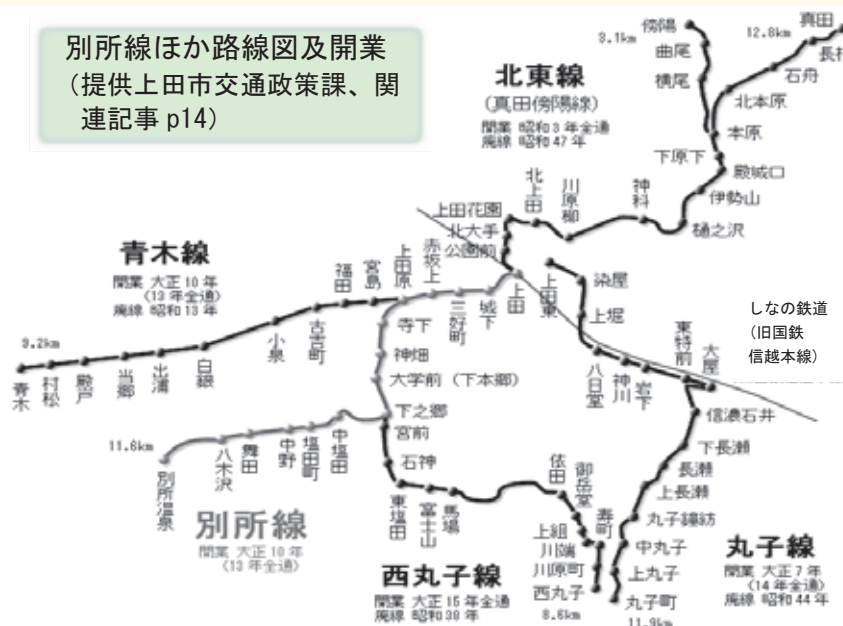


北齊館にて 2020年11月6日

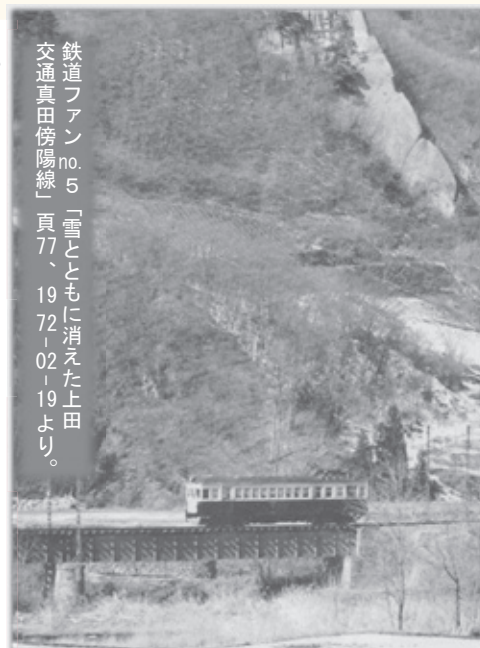


# 祝 東京真田町の会 ― 会報33号 ―

別所線ほか路線図及開業  
(提供上田市交通政策課、関  
連記事 p14)



鉄道ファンno.5「雪とともに消えた上田  
交通真田傍陽線」頁77、1972-02-19より。



くらしによろこび創りませんか  
**信州うえだ農業協同組合**

代表理事組合長 眞島 実

〒386-8668 長野県上田市大手2丁目7番10号 TEL0268-25-7800 FAX0268-25-7820

**JA 信州うえだ  
女性部真田支会**

〒386-2201

長野県上田市真田町長 3893-1

TEL0268-72-2300

FAX0268-72-4032

懐かしき真田中学旧校舎：渡り廊下の直近、右壁上部に「新聞  
委員会」、その奥に「お手洗」の貼紙が・・・1997年8月10日



日本ダボス 令和2年12月21日発行

発行者 東京真田町の会 会長 金子 誠

発行者住所 〒364-0035 埼玉県北本市西高尾 4-156, Tel & Fax 048-591-4728

編集 一之瀬和夫 (編集長)、深町共榮

印刷 上田市住吉：精巧堂 (株)アオヤギ印刷